

う 1-1

う① 【ウ〔鵜〕】《名》^{みずとり いっしゅ}水鳥の一種。う飼いに使う。㊦^か鵜鶘。^{つか}魚鷹。

【うの目たかの目】ウが^{さかな}魚を取り、タカが^{えもの}獲物をさがすときのように、

^{いっしょうけんめい}一生懸命に物をさがしたそうとするようす。また、その^め目つき。㊦^め瞪圓了

^{どろぼう}眼睛寻找。虎视眈眈。「泥棒は、うの目たかの目で^め裕福な^め老人の^{ゆうふく}財布を^{ろうじん}ね^{さいふ}らう」

う 1-3

う 《助動》(^{ごだんどうし}五段動詞の「お」の^{だん}段について) ①^{はな}話し手の^て意志を表す。㊦

^{くるま}表示说话人的意志。…吧。想…。「ボーナスで^か車を買おう」②^{あいて}相手を^{さそ}誘う^{きも}気持ち

ちを表す。㊦^{あらわ}表示邀请、^{しごと}劝诱的^お口气。(请)…吧。「^の仕事が終わったら、^あ飲み

に行こう」③^{もう}申し出を表す。㊦^あ表示提议。…吧。「^{ひとり}1人でたいへんだったら^て手

^{つだ}伝おう」④^{さそ}誘いや^{かる}軽い^{めいれい}命令を表す。㊦^{あらわ}表示劝说或稍带命令的口气。(请)…

吧。「あとすこしだ。がんばろう」⑤(「～うとする」の^{かたち}形で) そのことが^{おこな}行

われるすぐ前であることを表す。㊦(「～うとする」的^{かえ}形式) 正要…。「帰ろ

うとしたら、^{せんせい}先生に^よ呼び^と止められた」⑥^{すいりょう}推量を表す。㊦^{あらわ}表示推测、推量。(可

能)…吧。「^{こうねつ}高熱で、^{くる}さぞ苦し^くかったろう」⑦(「～うが」「～うと」「～うと

も」の^{かたち}形で) ～しても。㊦^な不管。无论…都。「泣こうが^なわめこうが、だめな

ものはだめだ」 参^{いちだんどうし}一段動詞、「する」^{どうし}動詞、「来る」^くは未然形^{みぜんけい}に「よう」がつく。

う 1-4

ヴァイオリン^① 《名》(violin) ⇒バイオリン

う 1-5

ウイーク^② 《名》(week) 1週間^{しゅうかん}。日曜^{にちよう}から土曜^{どよう}まで。㊥周。星期。「ゴールデンウイーク」

う 1-6

ウイークポイント^⑤ 《名》(weak point) 弱点^{じやくてん}。欠点^{けってん}。㊥弱点。要害。

う 1-7

ういういし・い^⑤ 【初初しい・初々しい】《形》年^{とし}が若^{わか}く、慣^なれてなくて、

新鮮^{しんせん}な感^{かん}じだ。㊥未经^{しんにゆうしやいん}世故。纯真。新入社員^{しんにゆうしやいん}はういういしい態^{たい}度^どで自己^じ紹^{こしょう}

介^{かい}をした」 名^{ういうい}初々^ししさ

う 1-8

ウィキペディア^④ 《名》(wikipedia) インターネット^{じよう}上^{さくせい}で作^{こう}成^{かい}、公開^{こうかい}され
ている無^む料^{りよう}の百^{ひゃつ}科^か事^じ典^{てん}。㊥维基^い百^{ひゃく}科^か。

う 1-9

ウイスキー^{②③} 《名》(whisky) 大^{おお}麦^{むぎ}やライ^{らい}麦^{むぎ}などからつくるアル^あル^るコ^こール^る度^ど

の強い洋酒。㊦威士忌。「スコッチウイスキー」数1杯. 1本

う 1-10

ウイルス②① 《名》(㊧virus) ㊦病原体の一種。ビールス。㊦**病毒**。「ウイルス性肝炎」②⇒コンピューターウイルス「パソコンがウイルスに汚染された」

う 1-11

ウインカー② 《名》(winker) 自動車についている、点滅式の方向指示器。㊦**(汽车的) 方向指示灯**。

う 1-12

ウインク② 《名・自動～する》(wink) 片目を閉じて目で合図すること。㊦**用一只眼睛眨眼示意。使眼色。**類目くばせ

う 1-13

ウーマン① 《名》(woman) 女性。㊦**妇女。女性**。「キャリアウーマン//ウーマンパワー」

う 1-14

ウーマンリブ⑤ 《名》(women's lib) 女性に対する差別や偏見をなくそう、
という女性解放運動。㊦**妇女解放运动**。

う 1-15

ウール① 《名》(wool) ^{ひつじ}羊の毛でつくった^{けいと}毛糸や^{けおりもの}毛織物。㊥羊毛。毛織品。

う 1-16

ウーロンちゃ③ 【ウーロン茶】《名》(㊥烏'龍"茶) ^{ちゃ}茶の^は葉をあぶってつくり、^{どくとく}独特の味と^{あじ}香りがある^{かお}中国茶。㊥^{ちゅうごくちゃ}烏龍茶。

う 1-17

うえ I ①【上】《名》①ある^{ところ}所から^み見て^{たか}高いほう。㊥上。上面。「山の上^{やま}に^{うえ}」

^{つき}月が^で出た//^{うえ}上を^む向く」^{した}対下 ②もの^{そとがわ}の外側・^{ひょうめん}表面。㊥外面。表面。「氷の上^{こおり}に^{うえ}」

^{すべ}を^{うえ}滑る//^{うえ}シャツの上^きに^{ちい}セーター^{ねんれい}を着る」③^{のうりよく}地位・^{たか}年齢・^{たか}能力などが^{たか}高いこと。

㊥(地位、水平)高。年長。「人の上^{ひと}に^{うえ}立つ^た者は^{もの}責任^{せきにん}が^{おも}重い//^{さいうえ}3歳^{あね}上の^{あね}姉」^{たい}対

^{した}下 ④あること^{かんけい}に関係があること。^{ぶんや}分野。㊥…方面。…上。「仕事の上^{しごと}の^{うえ}悩み^{なや}み

//^{さけ}酒の上^{うえ}の^{あやま}過^{くわ}ち」⑤～^{くわ}だけでなく、^{くわ}さらに^{くわ}加えて。㊥再。进一步。「熟慮^{じゅくりよ}の

うえに^{じゅくりよ}熟慮^{かさ}を重ねる」⑥～^{あと}した^{あと}後。～^{けっか}した^{けっか}結果として。㊥之后。…的结果。

「よく^{かんが}考^{へんじ}え^{へんじ}た^{へんじ}う^{へんじ}え^{へんじ}で、^{へんじ}返^{へんじ}事^{へんじ}を^{へんじ}する」⑦^{いじょう}そう^{いじょう}な^{いじょう}った^{いじょう}以^{いじょう}上^{いじょう}は。そう^{いじょう}である^{いじょう}から

には。㊥^き既然。「やると^き決^{さいご}めた^{さいご}う^{さいご}え^{さいご}は、^{さいご}最^{さいご}後^{さいご}ま^{さいご}で^{さいご}や^{さいご}り^{さいご}抜^{さいご}く」II【-上】《接尾》

(目上^{めうえ}の人^{ひと}を^{あらわ}表^{あらわ}す^{あらわ}こと^{あらわ}ば^{あらわ}の^{あらわ}後^{あと}につ^{あと}けて) ^{ひと}その^{ひと}人^{たい}に^{たい}対^{けい}する^{あらわ}敬^{あらわ}意^{あらわ}を^{あらわ}表^{あらわ}す。㊥…

大人。(敬称)「母上^{ははうえ}/^{あにうえ}母^{あにうえ}親^{あにうえ}大人^{あにうえ}//^{あにうえ}兄^{あにうえ}上^{あにうえ}/^{あにうえ}兄^{あにうえ}長^{あにうえ}大人^{あにうえ}」^書書

【^{うえ}上には^{うえ}上がある】これが^{さいこう}最高だと思^{おも}っている、それよりもっとすぐれたものが世の中にはあるものだ。㊥強中更有強中手。人外有人，天外有天。「20

歳で^{さい}起^{きぎょう}業したと^{おどろ}驚いていたが、上には上があるもので、^{こうこうせい}高校生の^{しゃちょう}IT社長が^{あらわ}現れた」

【^{うえ}上を^{した}下への^{おおさわ}大騒ぎ】ひどく^{こんらん}混乱して、^{ひと}おおぜいの人が^{さわ}騒ぎ立^たてるようす。

㊥^{とつぜん}鸡犬不^{けいえい}宁。闹得^{はたん}天翻地覆。「^{はつびょう}突然、^{しゃない}経営破綻が^{うえ}発表されて、社内は上を下^{した}への^{おおさわ}大騒ぎとなった」

う 1-20

ウェア^② 《名》(wear) ^{いふく}衣服。着^きるもの。㊥衣服。衣着。「スキーウェア// テニスウェア」

う 1-21

ウェーター^② 《名》(waiter) ^{いんしょくてん}飲食店で、^{きやく}客の^{ちゅうもん}注文をとったり^{いんしょくぶつ}飲食物を^{はこ}運んだりする^{だんせい}男性。ウェイター。㊥^{はこ}服务生。男^{はこ}服务员。対^{はこ}ウェイトレス

う 1-22

ウェイト^① 《名》(weight) ^{たいじゅう}体重。重^{じゅうりょう}量。ウエイト。㊥^{たいじゅう}体重。重^{じゅうりょう}量。「ウエイトトレーニング」^{じゅうりょう}②重要さ。重^{じゅうてん}点。㊥^{ふくし}重点。「福祉にウエイトを置いた^お政策」

う 1-23

ウエートレス② 《名》(waitress) 飲食店^{いんしょくてん}で、客^{きやく}の注文^{ちゆうもん}をとったり飲食物^{いんしょくぶつ}

を運^{はこ}んだりする女性^{じよせい}。ウエイトレス。㊦女服务员。女侍者。㊧ウエーター

う 1-24

うえき① 【植木】《名》庭^{にわ}や鉢^{はち}に植^うえてある木^き。また、これから植^うえる木^き。

㊦庭院的树。盆栽。「植木^{うえき}の手入れ//植木鉢^{てい}//植木屋^{うえきばち}」 ㊧数^{いっぽん}1本。1株^{ひとかぶ}。1鉢^{ひとはち}

う 1-25

うえさま①② 【上様】《名》①領収書^{りょうしゅうしょ}などに、客^{きやく}の名前^{なまえ}の代わり^かに書^かく

ことば。㊦写在收据等上面、以代替顾客的姓名。「領収書^{りょうしゅうしょ}の名前^{なまえ}は上様^{うえさま}にし

てもらう」②むかし、天皇^{てんのう}や将軍^{しょうぐん}を尊敬^{そんけい}していった言^いい方^{かた}。㊦古代对天皇或

将军等的敬称。大人。「上様^{うえさま}にはご機嫌^{きげん}うるわしう」

う 1-26

うえじに①④ 【飢え死に】《名・自動～する》食^たべ物^{もの}がなくて死^しぬこと。㊦

饿死。「大飢饉^{だいききん}に見舞^{みま}われて、子ども^こたちが飢え死^{うえじ}にした」 ㊧類^{がし}餓死

う 1-27

ウエスト①② 《名》(waist) 腰^{こし}の部分^{ぶぶん}の最^もも細^{ほそ}いところ。㊦腰。腰身。㊧

どうまわ
胴回り

う 1-28

うえつ・ける④ 【植え付ける】《他動一》①植物を他の場所から移して根づかせる。㊥移栽。移植。「イネを植えつける」②人の心にはっきりと覚えこませる。㊥灌輸。「自然を愛する心を植えつける」

う 1-29

ウエット② 《形動》(wet) 義理人情に弱いようす。感傷的になりやすいようす。㊥易于伤感。多情善感。話 対ドライ

う 1-30

ウエディングドレス⑥ 《名》(wedding dress) 結婚式に花嫁が着る、洋風の白い衣装。㊥婚纱。结婚礼服。

う 1-31

ウェブ① 《名》(Web) 「ワールド ワイド ウェブ (World Wide Web)」の略。WWW。インターネットなどで提供されるシステム。ホームページやブログなどで情報を公開・閲覧することができる。㊥国际互联网。Web。

う 1-32

ウェブサイト③ 《名》(Web site) インターネット上で、さまざまな情報が置かれている場所。サイト。ポータルサイト。㊥网站。Web 站点。

う 1-33

ウェブブラウザ④ 《名》(Web browser) ウェブ上^{じょう}にウェブページを^{ひょうじ}表示するソフトウェア。ブラウザ。インターネットブラウザ。㊦**网页浏览器**。Web 页面。

う 1-34

う・える② 【**飢える**】《自動一》①食^たべる物^{もの}がなくて、死^しぬほどおなかがすく。㊦**饥饿**。「食^{しょく}料^{りょう}不足^{ぶそく}で、国民^{こくみん}は飢^うえている」②ほしいものが得^えられなくて、苦^{くる}しいほどにそれをほしが^らる。㊦**渴望**。渴^{あいじょう}求^う。「愛^{あい}情^{じょう}に飢^うえた子^こども」
△**名**飢え **類**かつえる

う 1-35

う・える① 【**植える**】《他動一》①草^{くさ}や木^きを育^{そだ}てるために根^ねを土^{つち}に埋^うめる。㊦**種**。栽^{こうえん さくら なえ ぎ う はな う た ぼしよ うつ そだ}。「公園^{こうえん}に桜^{さくら}の苗木^{なえぎ}を植^うえる//花^{はな}を植^うえる」②他^たの場所^{ばしよ}から移^{うつ}して育^{そだ}てる。移^い植^{しょく}する。㊦**移植**。「やけどのあとに皮^ひ膚^ふを植^うえる」③思^し想^{そう}などを教^{おし}えこむ。㊦**培養**。「子^こどもに自^じ立^り心^{つしん}を植^うえる」

う 1-36

うお① 【**魚**】《名》さかな。魚^{ぎよるい}類^{るい}。㊦**魚**。「水^{みず}を^え得^うた魚^{うお}//魚^{うお}市^{いち}場^ば」 **書** **参**
「うお」も「さかな」も同じ意味だが、食^たべ物^{もの}をさすときは「さかなを食^たべる」と言い、「うおを食^たべる」とは言^いわない。

う 1-37

うおうさおう④② 【右往左往】《名・自動～する》おおぜい^{ひと}の人が、うろたえてあちらこちらと動きまわること。㊥东奔西跑。东逃西窜。「台風^{たいふう}で電車^{でんしゃ}が動かないと知^しって、乗客^{じょうきやく}は右往左往^{うおうさおう}している」

う 1-38

ウォーキング② 《名》(walking) 健康^{けんこう}や訓練^{くんれん}のために、早足^{はやあし}で歩くこと。㊥快速歩行。快步走。「ウォーキングシューズ」

う 1-39

ウォーター② 《名》(water) 水^{みず}。飲^のみ水^{みず}。㊥水。饮用水。「ミネラルウォーター/矿泉水」

う 1-40

ウォーミングアップ⑦ 《名・自動～する》(warming up) スポーツを始める前に、体^{からだ}をほぐすために行^{おこな}う軽^{かる}い準備^{じゅんび}運動^{うんどう}。ウオームアップ。㊥热身运动。准备活动。

う 1-41

うおがし⑩ 【魚河岸】《名》船^{ふね}から陸^{りくあ}揚げした魚介類^{ぎょかいりい}を、競^せり売^うりする所^{ところ}。魚市場。㊥鱼类批发市场。鱼市。「魚河岸へ新鮮な魚^{さかな}を買^かいに行^いく」

う 1-42

ウオッチ（ング）② 《名》（watch(ing)）^{かんさつ} 観察。㊤**观察**。「バードウオッチング/**观察鸟类**」

う 1-43

ウォン① 《名》（won）^{だいかんみんこく} 大韓民国・^{ちょうせんみんしゅしゅぎじんみんきょうわこく} 朝鮮民主主義人民共和国の^{かへいたんい} 貨幣単位。
㊤**韩元**。

う 1-44

うかい① 【迂回】《名・自動～する》^{なに} 何かを避けて、^さ 遠回りすること。^{とおまわ} 回り
^{みち} 道をすること。㊤**迂回**。**绕远儿**。「迂回路」^{うかいろう} 対^{ちよっこう} 直行 ^{とおまわ} 類^{まわ} 遠回り・^{みち} 回り道

う 1-45

うがい① 【うがい [含嗽]】《名・自動～する》^{くち} 口の中や、^{なか} のどをきれいに
するため、^{みず} 水などを^{くち} 口に^{ふく} 含んですすぎ、^は 吐きだすこと。㊤**漱口**。「風邪予防の
ために、うがいを^{れいこう} 励行する」

う 1-46

うかうか① 《～（と）副・自動～する》①よく^{かんが} 考えもしないで、^{じかん} 時間を過ご
すようす。㊤**稀里糊涂**。**晕晕乎乎**。「うかうかと^{だいがく} 大学を^{そつぎょう} 卒業してしまった」^類
ぼんやり ②何か^{なに} に^き 気を^と 取られて、^{ちゅうい} 注意が^た 足りないようす。㊤**不留神**。**疏忽**

大意。「うかうかしていて、そばに置いたかばんを盗まれた」 類 うっかり
う 1-47

うかが・う ㊦ 【伺う】（うかがって） I 《自動五》「訪問する」の謙讓語。

㊦ 拜访。「明朝9時に事務所にうかがいます」 類 お訪ねする. おじゃまする

II 《他動五》「聞く」「尋ねる」の謙讓語。㊦ 请教。请问。「校長先生のお話を

うかがって、感動した//ちょっとうかがいますが、駅はどちらでしょうか」 類

お聞きする. お尋ねする

う 1-48

うかが・う ㊦ 【うかがう [窺う]】《他動五》（うかがって）①そっと、よ

うすをのぞいてみる。㊦ 窥視。「垣根越しに隣の家のようにすをうかがう」②

ひそかに機会をねらう。㊦ 等候时机。「海外進出のチャンスをうかがう」③

推察する。㊦ 看出。「この絵から、戦前の農民の暮らしがうかがわれる」

う 1-49

うかさ・れる ㊦ 【浮かされる】《自動一》①夢中になる。㊦ 着迷。痴迷。「韓国

のスターに浮かされて、ソウル通いが続く」②高熱で意識がはっきりしなく

なる。㊦ (高烧而) 神智不清。「熱に浮かされて、うわごとばかり言っている」

う 1-50

うか・す① 【浮かす】《他動五》（うかして）①浮くようにする。㊥使…浮起。抬起。^{かえ}「帰ろうとして腰を浮かした時、^{こし}家の主人がもどってきた」②お金や時間^{じかん}をきりつめて、あまるようにする。㊥省出。腾出。^{やす}「安いホテルに泊まって、出張費用^{しゅっちょうひよう}を浮かした」△自動浮く 類浮かせる

う 1-51

うかつ① 【うかつ [迂'闊']】《形動》うっかりしていて注意^{ちゅうい}が足りないよ^たうす。㊥粗心大意。马虎。「うかつにも財布^{さいふ}を忘れてきた」

う 1-52

うが・つ② 【うがつ [穿'つ']】《他動五》（うがって）①穴^{あな}をあける。㊥穿。挖。「トンネルをうがつ//雨だれ^{あめ}石^{いし}をうがつ」②（「うがった」の形^{かたち}で）隠^{かく}れた真実^{しんじつ}や人情^{にんじょう}の機微^{きび}をとらえる。㊥说穿。一语道破。「若いのに、うがったことを言う」

う 1-53

うか-ぬ-かお 【浮かぬ顔】《連語》心配事^{しんぱいごと}のありそうな、元氣^{げんき}のない顔^{かお}。㊥愁眉苦脸。一脸的闷闷不乐。「不合格^{ふごうかく}だったのか、浮かぬ顔^{うかぬかお}で帰^{かえ}って来^きた」 類

う 浮かない顔 う かお

う 1-54

うかびあが・る⑤ 【浮かび上がる】《自動五》(うかびあがって) ①水面すいめんに姿すがたを現あらわす。Ⓜ浮出。漂起。「海面かいめんに潜水艦せんすいかんが浮かび上あがった」②見えなかつたものが表面ひょうめんに出でてくる。Ⓜ浮现。露出。「無名むめいの新人しんじんが、文学賞ぶんがくしょう候補こうほに浮かび上あがった」③暮くらし向むきや地ち位いがよくなる。Ⓜ翻身。「どん底生活ぞこせいかつから、やとと浮かび上あがってきた」

う 1-55

うか・ぶ⑥ 【浮かぶ】《自動五》(うかんで) ①物ものが沈しずまないで水面すいめんにある。Ⓜ漂。浮。「木この葉はが湖面こめんに浮かんでいうる」対沈しずむ ②落ちないで空お中ちゆうにある。Ⓜ飘浮。「空そらに雲くもが浮かんでいうる」③ものごとが人ひとに見みえるところや、意い識しきできるところまで出でてくる。Ⓜ浮现。「いいアイデアが浮かんだ」

う 1-56

うか・べる⑦ 【浮かべる】《他動一》①浮かぶようにする。Ⓜ使…浮起。泛。「池いけに小舟こぶねを浮かべる」対沈しずめる ②ものごとを、人ひとに見みえるところ、意い識しきできるところに出だす。Ⓜ浮现。露出。「涙なみだを浮かべる/含着眼泪」

う 1-57

うか・る② 【受かる】《自動五》（うかって）合格する。Ⓜ考上。及格。「第1志

望の大学に受かって、大喜びだ」
対 落ちる. 滑る

う 1-58

うか・れる① 【浮かれる】《自動一》心がうきうきして陽気になる。Ⓜ兴

高采烈。「宝くじが当たって、浮かれている」
対 沈む 類 はしゃぐ

う 1-59

うき① 【雨期・雨季】《名》1年のうち特に雨が多く降る時期・季節。Ⓜ雨

季。「タイには四季はないが、雨季と乾季がある」
対 乾期. 乾季 参 ふつうは

「雨期」を使うが、特に季節を強調するときは「雨季」。

う 1-60

うき① 【右記】《名》縦書きの文章で、その右。つまり、それまでに書い

た部分。Ⓜ右文。上文。「右記のとおり報告する」
対 左記

う 1-61

うきあしだ・つ⑤ 【浮き足だつ・浮き足立つ】《自動五》（うきあしだつて）

そわそわして落ちつかなくなる。Ⓜ坐立不安。「観戦中の地震に、観客は浮

あし
き足だった」

う 1-62

うきうき① 【うきうき・浮き浮き】《～（と）副・自動～する》^{こころ}心^はがはず

むようす。㊤喜洋洋。欢欢喜喜。「^{はる}春^{こころ}は心^がうきうきする//うきうきした^{かお}顔」

う 1-63

うきた・つ③ 【浮きたつ・浮き立つ】《自動五》（うきたって）^{こころ}心^{たの}が楽しく

^{ようき}陽気になる。㊤愉快。快活。「^{はな}花^{たよ}の便りを聞くと、^{こころ}心^うが浮きたつ」

う 1-64

うきぶくろ③ 【浮き袋】《名》^{みず}水^うに浮くために使^{つか}う、^{くうき}空気^{ふくろ}をつめた袋。浮き

^わ輪。㊤救生圈。浮囊。「^う浮き袋^{ぶくろ}につかまって、^{およ}泳ぎ^{れんしゅう}の練習をする」^{きゅうめい}類救命ブ
イ

う 1-65

うきぼり① 【浮き彫り】《名》①^{もの}物^{かたち}の形^{もよう}や模様^{へいめん}を、平面^うから浮き出^でるよう

に彫^ほること。また、その^{さくひん}作品。レリーフ。㊤浮彫。「^{にっこう}日光^いへ行^いって、^{とうしょうぐう}東照宮^のの

^う浮き彫^ぼりに見^みとれた」②（「^う浮き彫^ぼりになる」「^う浮き彫^ぼりにする」の^{かたち}形^{いま}で）今ま

で見えにく^みかったものごとが、はっきり^{あらわ}現れること。また、はっきり^{あらわ}現す

こと。㊤明显。突出。「この^{じけん}事件^{せいど}で、^{けっかん}制度^うの欠陥^ぼが浮き彫りになった」

う 1-66

うきよ②① 【浮き世】《名》つらいことの多い世の中。現実の社会。㊦尘世。

現世。「思いどおりにならないのが浮き世の習いだ//浮き世離れ」 ㊧世間. 俗

世

う 1-67

うきよえ③ 【浮世絵】《名》江戸時代に始まった風俗画。遊女・芝居の役

者・風景などを題材にした。絵筆で描いたものと、木に彫って刷ったものが

ある。㊦浮世絵。「浮世絵から、江戸の風俗がわかる」 ㊧数1枚. 1点

う 1-68

う・く① 【浮く】《自動五》(ういて) ①水の底から離れた位置にある。ま

た、水面に出る。㊦漂。浮。「海面に油が浮いている」 ㊧沈む ②地面から

離れて空中にある。㊦飄。「空に気球が浮いている」 ③固定されていた物が

ゆるむ。㊦松动。「歯が浮いて、かみにくい」 ④まわりと調子が合わなくて、

ひとりだけ離れてしまう。㊦脱离。「師をしのぶ会に、はでなドレスで出かけて浮

いてしまった」 ⑤お金や時間がある。㊦省下。富余。「今月は食費が2万円

浮いた」

う 1-69

うぐいす② 【ウグイス〔鶯〕】《名》早春、美しい声で鳴く小鳥。背中は黄色みをおびた緑色で、腹は白。㊤鶯。黄莺。「ウグイスの鳴き声で春の訪れを知る//うぐいす色/黄莺色」

う 1-70

うけ② 【受け】 I 《名》周囲から受け入れられること。㊤评价。人缘儿。「受けをねらったジョーク」 自他動受ける II 【-受け】《接尾》受けること。また、受けるためのもの。㊤收。収納（物）。「郵便受け//名刺受け」

う 1-71

うけあ・う③ 【請け合う】《他動五》（うけあって）ものごとがまちがいないことを保証する。㊤保证。准保。「5時までに必ず届けると、店長が請け合った」 名請け合い

う 1-72

うけい④ 【右傾】《名・自動～する》①物体が右のほうへ斜めになること。㊤向右傾斜。「地震で高層ビルが右傾した」②保守的、国粹主義的な思想を持つようになること。㊤右傾。「リベラルだった教授の思想が右傾してきた」

△書 対^{さけい}左傾

う 1-73

うけい・れる ④ 【受け入れる】《他動一》①人^{ひと}や物^{もの}をよそから自分^{じぶん}のところへ迎^{むか}え入^いれる。㊤接收。收容。「難民^{なんみん}を受^うけ入^いれる」 類^ひ引^うき受^あける ②相手^{あいて}の意見^{いけん}や要求^{ようきゅう}を認^{みと}めて、取^とり入^いれる。㊤听取。采纳。「先輩^{せんぱい}の忠告^{ちゅうこく}を素直^{すなお}に受け入^うれる」 類^き聞^きき入^いれる △名^う受け入^いれ 対^{こぼ}拒^{しりぞ}む. 退^{しりぞ}ける

う 1-74

うけうり ① 【受け売り】《名・他動～する》他人^{たにん}の意見^{いけん}や知識^{ちしき}を、自分^{じぶん}の意見^{いけん}であるかのように伝^{つた}えること。㊤照搬照抄。现趸现卖。「この意見^{いけん}は、新聞^{しんぶん}の社説^{しゃせつ}の受け売^うりだ」

う 1-75

うけおい ③ 【請負】《名》仕事^{しごと}の期限^{きげん}と金額^{きんがく}を決^きめて、注文^{ちゅうもん}を引^ひき受^うけること。㊤承包。包工。「請負制度^{うけおいせいど}//請負人^{うけおいにん}」 他動^う請^おけ負^う

う 1-76

うけこたえ ① 【受け答え】《名・自動～する》口頭^{こうとう}での質問^{しつもん}に對^{たい}して、口頭^{こうとう}で答^{こた}えること。㊤对答。应答。「首相^{しゅしやう}の丁寧^{ていねい}な受け答^うえが好評^{こうひやう}だ」 類^{おうとう}応答

比較 受け答え・応答

2語とも似ているが、受け答えは「どのような受け答え」であるかが問題になるが、応答はあるかないかに注目し、内容はあまり問題にしない。

◆仕事では電話の受け答えが重要だ/しっかりした受け答えをする子ども

◆チャイムを鳴らしたが、応答がない/応答を待つ

う 1-77

うけざら ㊦ 【受け皿】《名》①カップなどの下に置いて、しずくを受け

る皿。㊦杯碟。托盘。「コーヒーカップを受け皿に載せて客に出す」②仕事や

人を引きついで、受け入れるもの。㊦接收环境。「近接する国が、難民の受け

皿を準備する」

う 1-78

うけたまわ・る ㊦ 【承る】《他動五》（うけたまわって）①「聞く」の謙譲

語。㊦恭听。聆听。「おうわさはかねがね承っております」②「引き受け

る」「承知する」の謙譲語。㊦接受。敬悉。「ご依頼の件、確かに承りました」

う 1-79

うけつ・ぐ③ 【受け継ぐ】《他動五》（うけついで）自分より前の人た

ちが行っていたことを続け、守っていく。仕事・伝統・志などを継承す

る。Ⓜ継承。「家業の和菓子屋を受けついで、発展させてきた」名受け継ぎ

う 1-80

うけつけ① I 【受付】《名》外から来た人の用事を聞き、取りつぐ所。ま

た、その係の人。Ⓜ接待处。传达员。「会場の受付で招待状を見せる」

II 【受け付け】《名・他動～する》受けつけること。Ⓜ受理。「1月15日から

願書の受け付けが始まる」△他動受け付ける

う 1-81

うけつ・ける④ 【受け付ける】《他動一》①役所・事業所などで、外か

らの用事や仕事をそれぞれ適切に取り扱う。Ⓜ受理。「講習会参加の申し込

みを受けつける」対申し込む類受理する ②相手の頼みや意見を聞き入れる。

Ⓜ接受。「学生課で、留学生の相談を受けつけている」③食べ物などを体内

に入れる。Ⓜ吃进去。（身体）接纳。「衰弱して、飲み物以外は受けつけな

い」参③は、否定の形で使うことが多い。

う 1-82

うけと・める④ 【受け止める】《他動一》①自分に向かってくるものをとらえて、その動きを止める。また、相手の動きを防ぐ。㊦接住。挡住。「剛球を両手でしっかりと受けとめた」②相手の意見などを心にきざむ。㊦用心
记住。铭刻在心。「先輩の忠告を受けとめて、勉強の方法を変えてみる」

う 1-83

うけとり④ 《名》①【受け取り】お金や品物を受け取ること。㊦接受。收受。㊦他動受け取る ②【受取】お金や品物を受け取ったことを証明する書類。
受取書。㊦收据。发票。「配達するとき、品物を渡して受取に判を押してもら

う//受取人 類 受領書. 領収書

う 1-84

うけと・る③ 【受け取る】《他動五》(うけとって)①渡される物を自分の手に収める。㊦收。接。「郵便物を受け取る」②理解する。解釈する。㊦认为。领会。「異議も質問も出ないので、全員同意と受け取って議事を進めた」

う 1-85

うけみ③② 【受け身】《名》①自分からすすんで行動するのではなく、他からの働きかけを受けること。㊦被动。守勢。「受け身の姿勢では、厳しい

競争には勝てない」②柔道などで、けがをしないように倒れる技。㊦受身。

安全跌倒法。「受け身の技を覚える」③〔受身〕文法で、他からの動作を受けるとき表現法。受動態。「たたかれる」「ほめられる」など。㊦被動態。

う 1-86

うけもち㊦ 【受け持ち】《名》自分の分担を受け持つこと。また、その仕事・

人。㊦主管(人)。担任(人)。「1年3組の受け持ちは田中先生だ」㊦他動受け

持つ ㊦担任.担当

う 1-87

うけも・つ㊦㊦ 【受け持つ】《他動五》(うけもって)自分の仕事として責任

をもってする。㊦担任。负责。掌管。「父が営業を受け持ち、母が経理を受け

持っている」㊦名受け持ち ㊦類担当

う 1-88

う・ける㊦ 【受ける】I 《他動一》①外から来る物をこちらで取る。㊦接。

領。「ボールを受ける//依頼を受ける」②外からの働きかけが自分におよぶ。

㊦受到。遭受。「ショックを受ける//被害を受ける」③価値のあるものをも

らう。㊦得到。获得。「賞を受ける//学位を受ける」㊦対授ける ④自分に向

けられたものを取り入れる。㊦考。受。接受。「試験を受ける//教育を受け
る」Ⅱ《自動一》人気やいい評判を得る。㊦受欢迎。有人気。「この曲は若者
に受けている」

う 1-89

うごか・す㊦ 【動かす】《他動五》（うごかして）①物などを、ある場所か
ら別の場所へ移す。㊦挪動。搬動。「窓のほうへ机を動かす」②止めておか
ない。㊦开动。开。「車を動かす」㊦と止める ㊦感動を与える。㊦打動。
感動。「歌声は人の心を動かした」④状況を変える。㊦改変。改动。「世論
が政治を動かした//歴史を動かす大事件」⑤それぞれの働きをするように使
う。㊦运用。推动。「市長を動かして、公園をつくらせた」

う 1-90

うご・く㊦ 【動く】《自動五》（うごいて）①物や人などが、ある場所か
ら別の場所へ移る。㊦動。移動。「太陽が東から西へ動く」②止まっていな
い。㊦走。运转。「時計の針は、休まず動いている」㊦と止まる ㊦状況が
変わる。㊦変化。变动。「世界情勢は刻々と動いている」④それぞれの働き
をする。㊦出动。发挥作用。「贈収賄事件に検察庁が動いた」△㊦動き

う 1-91

うごの-たけのこ 【雨後のたけのこ】 ^{おな}同じようなものが、つぎつぎに ^{あらわ}現れることのとえ。㊤**雨后春笋**。「IT企業 ^{きぎょう}が、雨後のたけのこのように ^{きぎょう}起業した」

う 1-92

うさぎ ㊤ 【ウサギ [兔]】 《名》 ^{みみ}耳の長い、^{なが}小さい動物。 ^{ちい}後ろ足が ^{どうぶつ}長く、よく ^は跳ねる。 ^{にく}肉や ^{けがわ}毛皮を ^{りよう}利用する。㊤**兔子**。 数 ^{いちわ}1羽. ^{いっぴき}1匹

う 1-93

うさばらし ㊤ 【憂さ晴らし】 《名・自動～する》 ^{きぶん}つらいことや、いやな ^い気分を ^は晴らすこと。㊤**消愁**。 **解闷**。「試合に ^{しあい}負けた ^ま憂さ ^う晴らしに、 ^ぼカラオケ ^いに行く」
類 ^{きば}気晴らし. ^{きぶんてんかん}気分転換 似た表現 ^う憂さを ^は晴らす

う 1-94

うさんくさ・い ㊤ 【うさんくさい [胡散臭い]】 《形》 ^いなんとなくあやし ^{かん}い ^{しんよう}感じで、 ^{しんよう}信用 ^まできない。㊤**可疑**。 **信不过**。「100万円 ^{まんえん}の ^かつぼ ^{なんびょう}を買えば ^い難病 ^が ^{なお}治る ^{はなし}などという、 ^のうさんくさい ^の話 ^に ^の乗らない ^{ように}」

う 1-95

うし① 【牛】《名》^{かちく いっしゅ おおがた ちから つよ}家畜の一種。大型で力が強く、^{あたま ほん つの}頭に2本の角がある。

^{ちち にく かわ}乳・肉・皮などを^{りよう}利用する。㊥牛。㊦^{いっとう いっびき}1頭.1匹

う 1-96

うじうじ① 【～（と）副・自動～する】^{じぶん きも かんが}自分の気持ちや考えを、はっきり

^{あらわ}表したり^き決めたりできないようす。㊥**迟疑不决**。㊦**举棋不定**。「うじうじと考

えているばかりで^{うご}動けない」㊦**類**ぐずぐず.いじいじ

う 1-97

うしな・う① 【失う】《他動五》（うしな^てって）^もあったもの、持っていた

ものをなくす。㊥**失去**。㊦**丢失**。「^{つなみ}津波ですべてを^{うしな}失った//^{きりよく}氣力を^{うしな}失う」㊦

^え得る

う 1-98

うじゃうじゃ① 《～（と）副・自動～する》^{ちい むし}小さい虫などがたくさん^{あつ}集ま

り、かたまって^{うご}動くようす。㊥（**小虫子等**）**密密麻麻地乱动**。「ツバキの^は葉に

^{け むし}毛虫がうじゃうじゃと^{むら}群がっている」㊦

う 1-99

うしろ④ 【後ろ】《名》①顔のあるほうと反対のほう。㊦后面。「後ろを振り向く」②物の正面と反対のほう。㊦背后。背面。「机の後ろに鍵を落とした」㊦裏③並んでいるものの終わりに近いほう。㊦后方。「いちばん後ろの車両に乗る」㊦後方 △対前

【後ろを見せる】負けて逃げだす。また、弱みを見せる。㊦落敗而逃。示弱。

「敵に後ろを見せてはいけない」

う 2-1

うしろがみをひかれる 【後ろ髪を引かれる】後のことが気にかかって、思い切ることができない。㊦牵肠挂肚。难舍难分。「重病の母を残して、後ろ髪を引かれる思いで任地へ向かった」

う 2-2

うしろぐら・い⑤ 【後ろ暗い】《形》悪いことを隠している。㊦亏心。見不得人。「後ろ暗いことは何もないから、どこでも調べてくれ」㊦後ろ暗さ
㊦後ろめたい

比較 うしろぐら暗い・後ろめたい

2語とも悪いことをして気がとがめること。後ろ暗いは人に知られては困ることに重点があるが、後ろめたいは自分の良心に恥じる気持ちが強い。

- ◆万引きで逮捕されたという後ろ暗い過去がある/後ろ暗いことはない
- ◆昼間からお酒を飲むのは後ろめたい気がする/親友を裏切ってしまう、
後ろめたい気持ちだ

う 2-3

うしろだて② 【後ろ盾〔後ろ楯〕】《名》表^{おもて}立たず、陰^{かげ}で助^{たす}けたり力^{ちから}にな
ったりすること。また、その人。㊦后盾。后台。「資金面^{しきんめん}の強^{きょうりよく}力^{うし}な後ろ盾^{だて}
がある」 類^{こうけん こうえん}後見.後援.バック

う 2-4

うしろまえ③ 【後ろ前】《名》シャツなどを着^きるとき、前^{まえ}と後ろ^{うし}が逆^{ぎやく}にな
ること。㊦前后颠倒。「あわてて、セーターを後ろ前^{うし まえ}に着^きてしまった」 類^ああ
べこべ

う 2-5

うしろむき④ 【後ろ向き】《名》①相手^{あいて}に背中^{せなか}を向^むけていること。㊦背朝
着。背身。「後ろ向き^{うし む}に立^たっていたので、顔^{かお}はわからない」②考^{かんが}え方^{かた}が消
極^{きよく}的^{てき}であること。㊦消极。向后看。「後ろ向き^{うし む}の考^{かんが}えでは進^{しん}歩^ぽしない」 △

類^{まえ む}対前向き

う 2-6

うしろめた・い⑤ 【後ろめたい】《形》悪いこと^{わる}をして気がとがめる^き感じ^{かん}だ。㊤内疚。负疚。「部活^{ぶかつ}だと母^{はは}をだまして、映画^{えいが}を見^みに行^いったことを、うしろめたく^{おも}思う」
 名^{うし}後ろめたさ 類^{うし}後ろ暗い⇒比較^{ひかく}

う 2-7

うしろゆびを-さされる 【後ろ指を指される】陰^{かげ}で悪^{わる}く言^いわれたり、非難^{ひなん}されたりする。㊤被^ふ人在^{せい}背地说^{せい}坏话。「不正^{ふせい}はいっさいないから、後ろ^{うし}指^{ゆび}をさされることはない」

う 2-8

うす I 【薄-】《接頭》(名詞・形容詞について) ①色・厚^{あつ}みなどが薄^{うす}い。
 ㊤薄^{うす}…。浅^{あは}…。淡^{たん}…。「薄^{うす}べにいろ 薄^{うす}ごおり 薄^{うす}き 薄^{うす}氷」②程度^{ていど}が少^{すく}ない。㊤薄^{うす}…。浅^{あは}…。淡^{たん}…。「薄^{うす}あじ 薄^{うす}ぐら」③なんとなく、そんな感^{かん}じがする。㊤多^た少^{せう}有^う些^{しや}…。隱^{いん}約^{やく}覚^{かく}得^{とく}…。「薄^{うす}ぎたない 薄^{うす}き みわる」
 II 【-薄】《接尾》すこししかない。
 ㊤…不^ふ大^{たい}。…不^ふ多^た。「品^{しな}薄^{うす}//望^{のぞ}み薄^{うす}」

う 2-9

うず① 【渦】《名》①輪^わを描^{えが}きながら、中^{ちゆう}心^{しん}に向^むかって勢^{いきお}いよく回^{まわ}っている、水^{みず}や空^{くう}気^きの流^{なが}れ。㊤漩^{せん}渦^{たくき}。「洗^{せん}濯^{たくき}機^きの中^{なか}で水^{みず}が渦^{うず}を卷^まく//渦^{うず}潮^{しお}」②こ

みあっていて、その中に入ったら抜けだせない状態。㊥（比喻）象漩涡般的

困境。「戦乱の渦に巻きこまれる」

う 2-10

うす・い㊦㊧ 【薄い】《形》①表から裏までの間が小さい。厚みがない。

㊥薄的。「壁が薄い//薄い氷」 ㊦厚い ②色・味・溶液の濃さや密度など

の程度が少ない。㊥淡的。浅的。稀的。「味の薄いスープ//薄い髪の毛」 ㊦

濃い ③ものごとの程度が低い。㊥淡漠的。淡薄的。「政治への関心が薄い

//人情が薄い」 ㊦深い △㊧薄さ

う 2-11

うすうす㊨ 【うすうす〔薄薄・薄々〕】《副》はつきりとはではないが、な

んとなくわかるようす。㊥模模糊糊。稍微。「2人が結婚しそうだ、うすう

す感じていた」 ㊦かすかに.おぼろげに

う 2-12

うずうず㊩ 《～（と）副・自動～する》あることをしたいという気持ちが強

くて、がまんするのがむずかしいようす。㊥跃跃欲试。心里发痒。「妹は新

しい靴をはいて外へ出たくて、うずうずしている」 ㊦むずむず

う 2-13

うすがみを-はぐように 【薄紙をはぐように】 病^{びょう}気^きがすこしずつよくなる
ようす。㊥日^{はる}見^{うすがみ}起^{びょうき}色^{なお}。「春^{はる}になって、薄紙^{うすがみ}をはぐように病^{びょう}気^きが治^{なお}ってきた」

う 2-14

うすぎ㊦ 【薄着】 《名・自動～する》服^{ふく}をすこししか着^きないこと。㊥衣着

单薄。穿的少。あに うすぎ 兄^{あに}は薄着^{うすぎ}で、いつでもTシャツ1枚だ//伊達^{まい}の薄着^{だて} ㊦厚着^{うすぎ} ㊦対^{あつぎ}厚着

う 2-15

うすぎたな・い㊧ 【薄汚い】 《形》なんとなく、汚^{よご}れた感^{かん}じだ。㊥有点儿

脏。脏兮兮。そうじ うすぎ 掃除^{そうじ}をしないと、部屋^{へや}が薄^{うす}ぎたなくなる ㊦名^{うすぎたな}薄汚^ささ ㊦類^{こぎたな}小汚
い

う 2-16

うすきみわる・い㊨ 【薄気味悪い】 《形》なんとなく気^き味^みが悪^{わる}い。㊥阴森

森。怪模怪样。よる はかば とお 夜^{よる}、墓場^{はかば}を通^{とお}るのは、薄^{うす}気^き味^み悪^{わる}い ㊦名^{うすきみわる}薄^さ気^み味^{わる}悪^さ

う 2-17

うず・く㊩ 【うずく〔疼^{いた}く〕】 《自動五》 (うずいて) ずきずきと痛^{いた}む。

㊥针^{むしば}扎^ば般^{ねむ}地^{こころ}疼^{いた}。一跳^{むしば}一跳^{ねむ}地^{こころ}疼^{いた}。「虫^{むしば}歯^ばがうずいて眠^{ねむ}れない//心^{こころ}がうずく」

う 2-18

うすくち① 【薄口】《名》^{りょうり あじ いろ うす}料理の味や色が薄いこと。㊥淡口。清淡。「薄口

しょうゆ」^こ対濃い口

う 2-19

うずくま・る①④ 【うずくまる〔蹲る〕】《自動五》（うずくまって）^{からだ}体

^{ぜんたい ちい}全体を小さくまるくして、しゃがむ。㊥蹲。「^{つか}疲れはてて、^{ろじょう}路上でうずくま
った」

う 2-20

うすぐら・い④① 【薄暗い】《形》^{くら}すこし暗い。㊥发暗。昏暗。「^{しょさい ひ あ}書斎は日当

たりが悪くて、^{ひる}昼でも^{うすぐら}薄暗い」^{うすぐら}名薄暗さ

う 2-21

うすげしょう③ 【薄化粧】《名・自動～する》①めだたない^{ていど}程度にした^{けしょう}化粧。

㊥淡妆。「^{ひん}品のいい^{うすげしょう}薄化粧」^{あつげしょう}対厚化粧 ②^{ゆき うす つ}雪が薄く積もった^{じょうたい}状態。㊥薄

^{はつゆき とお やま うすげしょう}薄的积雪。「初雪で遠くの山が薄化粧した」

う 2-22

うずたか・い④ 《形》^{もの}物がたくさん^つ積み^{かさ}重なって、^{たか}高く^も盛り^あ上がっている。

㊥堆得很高。堆积如山。「^{そうこ ほん}倉庫に本がうずたかく^つ積まれている」

う 2-23

うすっぺら① 【薄っぺら】《形動》①物が薄くて、安っぽい感じがするよ

うす。④**很薄。单薄。**「薄っぺらな本だが、内容は濃い」②性格・考え方・

行動に深みがなく、軽いようす。④**轻率。肤浅。浅薄。**「思いつきだけの薄っ

ぺらな意見だ」 対**重厚** 類**軽薄.浅薄**

う 2-24

うすで① 【薄手】《名》紙・布・陶器などが薄いこと。④**薄**（紙、布、陶

器等）。「薄手の生地で夏服をつくる」 対**厚手**

う 2-25

うすび① 【薄日】《名》①くもっているときにさす太陽の弱い光。④**微弱**

的阳光。「雨がやんで薄日がさしてきた」②景気などの悪い状態が続いてい

るときに、すこしよい傾向が現れること。④**一丝希望。**「景気に薄日がさし
てきた」

う 2-26

うずま・く③ 【渦巻く】《自動五》（うずまいて）①水や空気が中心に向か

って、ぐるぐる回る。④**卷起漩涡。打漩。**「火事の現場では、火と黒い煙が

うずま 渦巻いていた」②いろいろな感情が激しく湧き出る。㊥**剧烈激动**。「世間に

は、反原発の音が渦巻いている」 △**名**渦巻き

う 2-27

うずま・る**㊦** 【うずまる〔埋まる〕】《自動五》（うずまって）①土や雪な

どの中に入って見えなくなる。㊥**（被）埋上**。埋在…里。「崖がくずれて、家が

土砂にうずまった」②すきまがないほど、いっぱいになる。㊥**挤満**。塞満。

「コンサートの会場は、ファンでうずまった」 △**他動**うずめる **類**埋まる

比較 埋まる・埋まる

2語とも似ていて、埋まる・埋まるとともに土の中などに入って、土砂や雪などにおおわれて見えなくなる。また、すきまなく、いっぱいになることをいう。埋まるは地面の穴や金銭の赤字などがもとのとおりになることもいう。

◆崖くずれで、線路が土砂でうずまった/土の中に石器がうずまっていた

◆空き地が雑草でうまる/欠員がうまる/赤字がうまる/空席がうまる

う 2-28

うす・める**㊧㊨** 【薄める】《他動一》①色・溶液の味などを薄くする。㊥

稀釋。把（颜色、味道等）弄淡。「ウイスキーを水と氷で薄めて飲む」②も

のごとの程度や印象を弱くする。㊦稀釋。弄淡。「はでな額縁が、絵の印象を薄めている」 △自動薄まる

う 2-29

うず・める㊦ 【うずめる〔埋める〕】《他動一》①土などの中に入れて見えないようにする。㊦埋。掩埋。「野菜を地中にうずめて保存する」②すきまがないほど、いっぱいにする。㊦擠満。充塞。「花火見物の人の群れが、両岸をうずめた」③上からおおうようにして、外から見えないようにする。㊦捂。

「母の胸に顔をうずめて泣く」 △自動うずまる 類埋める

う 2-30

うずも・れる㊦㊧ 【うずもれる〔埋もれる〕】《自動一》①上からおおわれて見えなくなる。㊦（被）埋上。掩埋。「山道は落ち葉にうずもれていた」②立派な人材や才能が、人に知られないでいる。㊦埋没。湮没。「教師は、生徒のうずもれていた才能を見いだした」 △類埋もれる

う 2-31

うすら 【薄ら-】《接頭》かすかなようす。㊦（接頭詞）淡淡…。微微…。
「薄ら笑い//薄ら寒い」

う 2-32

うすら・ぐ③④ 【薄らぐ】《自動五》（うすらいで）だんだんと薄く、弱くなる。④减轻。缓和。变模糊。「印象が薄らぐ」 類薄れる.やわらぐ

う 2-33

うすらさむ・い⑤ 【薄ら寒い】《形》なんとなく寒い。すこし冷えて寒い。

④带有寒意。凉飕飕。「9月になると、朝は薄ら寒く感じる」 名薄ら寒さ 類

うそ寒い

う 2-34

うす・れる③④ 【薄れる】《自動一》はっきりしていたものが、だんだん薄くなる。④模糊化。减弱。「意識が薄れる//記憶が薄れる」 類薄らぐ

う 2-35

うすわらい③ 【薄笑い】《名・自動～する》声を出さずに、口もとだけでかすかに笑うこと。薄ら笑い。④轻蔑地一笑。「賄賂を追及された役人は、薄笑いを浮かべて、だれでもやっていることだ、と言った」

う 2-36

う・せる② 【うせる〔失^しせる〕】《自動一》①なくなる。㊤失去。喪失。

「大病^{たいびょう}をして、体力^{たいりょく}も気力^{きりょく}もうせた」類消える ②去る。㊤离开。走开。

「お前^{まえ}なんか、さっさと、うせろ」俗

う 2-37

うそ① 【うそ〔嘘^{うそ}〕】《名》①事实^{じじつ}でないこと。㊤谎言。假话。「病^{びょう}気^きだ

とうそをついて学校^{がっこう}を休^{やす}む//うそがばれる」対本^{ほん}当^{とう}類いつわり.つくりごと

②（「～したらうそだ」の形^{かたち}で）適^{てき}当^{とう}ではない。㊤不^ふ应^{いん}该^{がい}。不^ふ合^{ごう}适^{しつ}。「こん

な掘^ほり出^だし物^{もの}を買^かわないとしたら、うそだ」③（～しなければうそだ」の形^{かたち}

で）当^{とう}然^{ぜん}そうあるべきだ。㊤当^{べん}然^{きょう}应^{いん}该^{がい}。「あれだけ勉^{べん}強^{きょう}したのだから、合^{ごう}格^{かく}し

なければうそだ」④（「うそのよう」「うそみたい」の形^{かたち}で）今^{いま}までのこと

が信^{しん}じられない。㊤难^{なん}以^い置^ち信^{しん}。「きのうの大雨^{おおあめ}がうそのように、きょうは雲^{くも}ひ

とつない快^{かい}晴^{せい}だ」

【うそから出^でたまこと】うそで言^いったことが、いつのまにか事^じ実^{じつ}となること。

㊤弄^{じやう}假^{じや}成^{じやう}真^{しん}。似た表^{ひょう}現^{げん}ひょうたんから駒^{こま}

【うそも方^{ほう}便^{べん}】場^ば合^{あい}によっては、うそをつくことも、目^{もく}的^{てき}を達^{たつ}成^{せい}するたための

方^{ほう}法^{ほう}としてかまわないということ。㊤说^{せつ}谎^{わう}有^う時^じ也^い是^し权^{けん}宜^い之^し计^{けい}。善^{ぜん}意^い的^{てき}谎^{わう}言^{げん}。

う 2-40

うそつき② 【うそつき [嘘'吐"き]】 《名》 うそをよく言う^{い ひと}人。㊤爱撒谎的
人。

う 2-41

うそっぱち④⑤④ 【うそっぱち [嘘'っぱち]】 《名》 「うそ」を強^{つよ}めた^い言^い
方。㊤谎言。假话。「財布^{さいふ}をすられたと、うそっぱちを言^いって、会費^{かいひ}を免除^{めんじょ}
してもらった」 俗 類 真^まっ赤^かなうそ

う 2-42

うそぶ・く③ 【うそぶく [嘯'く]】 《自動五》（うそぶいて） ①知^しっている
のに、知^しらないふりをする。㊤佯装不知。装聋作哑。「その場^ばにいたのに、何^{なに}も
知^しらないとうそぶく」 ②ほらをふく。㊤说大话。吹牛。「今^{いま}に大金持^{おおがねも}ちになる
んだとうそぶく」 類 豪語^{ごうご}する

う 2-43

うた② 【歌・唄】 《名》 ①メロディーやリズムのついたことば。㊤歌。歌
曲。「誕生日^{たんじょうび}の歌^{うた}を歌^{うた}う」 類 歌曲^{かきょく}、歌謡^{かよう} ②和歌。短歌。㊤和歌。短歌。「花^か
鳥^{ちょう}風^{ふう}月^{げつ}を歌^{うた}に詠^よむ」

う 2-44

うたい① 【謡】《名》^{のう}能の^{かし}歌詞。また、それを^{うた}謡うこと。^{ようきょく}謡曲。㊥能乐的
唱词。謡曲。「能の役者は、^{のう}能の^{やくしゃ}役者は、^{うたい}謡に^あ合わせて^{まい}舞をする」

う 2-45

うたいもんく④ 【うたい文句〔謳い文句〕】《名》^{せんでん}宣伝のために、^{とくちょう}特長や
^{こうのう}効能などを^{きょうちょう}強調することば。キャッチフレーズ。㊥引人注目的广告短语。
广告口号。

う 2-46

うた・う① 【歌う】《他動五》（うたって）メロディーやリズムにのって^{こえ}声を
^だ出す。㊥唱。「^{こもりうた}子守唄を^{うた}歌って^ね寝かせる」

う 2-47

うた・う① 【詠う】《他動五》（うたって）^{かんだう}感動した^{きもち}気持ちを^し詩や^{うた}歌にする。
㊥赋诗。咏歌。「^{ちやうじやう}長^{しず}城に^{ゆうひ}沈む^{うつく}夕日の^{うつく}美しさをうたう」

う 2-48

うた・う① 【謡う】《他動五》（うたって）^{ようきょく}謡曲に^{ふし}節をつけてうたう。㊥给
謡曲加上调子演唱。「^{はら}腹の^{そこ}底から^{こえ}声を出して、^だ謡を^{うたい}うたう」名謡

う 2-49

うた・う① 【うたう〔謳う〕】《他動五》（うたって）はっきりと^{しゅちやう}主張する。

㊦**声明。明确主张。**「^{にほんこくけんぽう}日本国憲法は^{せんそう}戦争の^{ほうき}放棄をうたっている」

う 2-50

うだうだ① 《～（と）副・自動～する》^{むいみ}無意味なことをしたり、^いしつこく言
ったりするようす。㊦**罗罗嗦嗦。絮絮叨叨。**「^{じかん}時間が^た足りない、^{ちよう}パソコンの調
^し子が^{わる}悪い、^{しりょう}資料が^み見つからないと、うだうだ^い言いながら^{ろんぶん}論文を^か書いている」

う 2-51

うたがいぶか・い⑥ 【**疑い深い**】《形》^{うたが}疑う^{きもち}気持ちが^{つよ}強くて、^{しん}なかなか信じ
ないようす。^{うたぐ}疑り^{ぶか}深い。㊦**多疑。疑心重。**「^{うたが}疑い^{ぶか}深い^{せいかく}性格」名^{うたが}疑い^{ぶか}深さ

う 2-52

うたが・う⑩ 【**疑う**】《他動五》（うたがって）①^{しんじつ}真実ではないだろうと^{おも}思う。

㊦**怀疑。疑惑。**「^{ぶか}部下の^{のうりよく}能力を^{うたが}疑う//^{うたが}疑う^{よち}余地のない^{しょうこ}証拠」対^{しん}信じる ②

^{わる}悪いことを^{よそう}予想して、^{おも}そうだろうと^{おも}思う。㊦**猜疑。猜测。**「^{にせもの}偽物じゃないかと

^{うたが}疑う」類あやしむ △^{うたぐ}疑る 名^{うたが}疑い

う 2-53

うたがわし・い⑤① 【疑わしい】《形》①本当かどうか確かでない。㊦不

確定。説不定。「彼が真犯人かどうか疑わしい」②変だと思われる。㊦可疑。

「疑わしい言動」 △名 疑わしさ 類 不審. 疑問だ. あやしい

う 2-54

うたぐ・る① 【うたぐる [疑"る]】《他動五》（うたぐって）たぶんそう

ではないと思う。疑う。㊦怀疑。疑惑。「けがは転んでできた、と言う生徒のことばをうたぐった」 俗

う 2-55

うたたね① 【うたた寝 [転"た寝]】《名・自動～する》寝床でない所で

こし眠ること。㊦打盹儿。打瞌睡。「テレビを見ながら、うたた寝をする」 類

かみん
仮眠

う 2-56

うだつが-あがらない 【うだつ [祝] が上がらない】いつまでたっても出世

しないし、裕福にもならない。㊦抬不起头来。翻不了身。「50歳になっても平

しゃいん
社員で、うだつが上がらない

う 2-57

うだ・る② 《自動五》（うだって）暑さのために体がだるくなる。㊦热得

四肢无力。「毎日35度以上^{まいにち ど いじょう}のうだるような^{てんき つづ}天気が続く」

う 2-58

うち① 【内〔中〕】《名》①ものの中。^{なか}②里面。内部。「胸の内」^{むね うち} ③対^{そと}外 ④

心の中。^{こころ なか}⑤心中。「内に秘めた情熱」^{うち ひ じょうねつ} ⑥書 ⑦③〔うち〕自分が所属している

家族・職場・学校など。^{かぞく しょくば がっこう}⑧我。我们。咱们。「うちの学校は都心にある//う

ちの部長」⑨〔うち〕数・量の範囲。^{かず りょう はんい}⑩…内。…中。「会費のうち、半分を

被災地へ寄付する」⑪〔うち〕（「～うちに」の形^{かたち}で）～のあいだに。⑫…

期間。…間。「若いうちに、いろいろ^{わか けいけん}経験したい」

う 2-59

うち① 【家】《名》①人が住む建物。^{ひと す たてもの いえ}家。②家。「やっと自分のうちを建て

た」③自分の家。また、住んでいる所。^{じぶん いえ す ところ}④自家。家里。「日曜はうちでのん

びり過ぎた」

う 2-60

うち 【打ち -】《接頭》（動詞について）①動作がきっぱり、また、すっ

かり行われることを表す。^{おこな}②徹底…。完全…。「打ち切る//打ち砕く」③意

味を強め、^{み つよ}調子をととのえる。^{ちょうし}④表示強調。「打ち寄せる//打ち続く」

う 2-61

うちあげ① 【打ち上げ】《名》①打ち^うあ^あげること。④**发射**。「ロケットの打ち^うあ^あげが成功した」②会^{かい}が^お終わること。また、その苦^くろ^うを^かい^{かい}わたる会。④**工作**
結束（**后的慰劳宴会**）。「大会^{たいかい}の^{しゅうりょう}後^ご、^う打ち^あげの^の飲^かい^{かい}会^{かい}をする」△

他動打ち上げる

う 2-62

うちあ・ける①④ 【打ち明ける】《他動一》^{いま}今^いまで^い言^いわ^いな^いか^いつ^たこと^をす^つ
かり^{はな}話^{はな}す。④**坦白**。**倾诉**。「学校^{がっこう}での^うい^あじめ^を打ち^あ明^あける」類告^{こく}白^{はく}する。明^あか^あ
す

う 2-63

うちあ・げる①④ 【打ち上げる】 I 《他動一》①勢^{いきお}い^およく^{たか}高^あく^あ上^あげること。④
打上去。**发射**。「ロケットを打ち^うあ^あげる」②波^{なみ}が^{かい}海^が岸^{がん}に、物^{もの}を^{はこ}運^{はこ}び^あげること。④
把…冲拍海岸。**冲上岸**。「波^{なみ}が^{かい}海^が草^{そう}を^{かい}海^が岸^{がん}に^う打ち^あげること」③仕^し事^{ごと}や興^{こう}行^{ぎょう}など
を^お終^おえる。④（**工作**、**演出**等）**結束**。「好^{こう}評^{ひょう}で、3年^{ねん}も^しロ^ろン^んグ^ぐラン^{らん}した^し芝^{しば}居^いを^あ
打ち^うあ^あげた」△名打ち^うあ^あげ自動打ち^うあ^あがる II 《自動一》波^{なみ}などが^{きし}岸^しに^よ寄^よせ
て^あ上^あがる。④（**海浪**）**冲拍上岸**。「台^{たい}風^{ふう}で^{たか}高^{なみ}波^はが^{はま}浜^うに^う打ち^あげること」

う 2-64

うちあわ・せる ⑤① 【打ち合わせる】《他動一》①何かをする前に話し合っ
て、やり方などを決める。㊤商定。协商。「クラス会の段取りを打ち合わせる」

②物と物をぶつけ合う。㊤相碰。互击。「神社の前で手を打ち合わせる」 △

名 打ち合わせ

う 2-65

うちいわい ③ 【内祝い】《名》①家族だけで祝う会。㊤家里人的庆祝会。

「兄の結婚式の内祝いをする」②結婚や子どもの誕生などを祝ってくれた人
に贈る品。㊤赠送的礼品。「結婚の内祝いの品物を親戚に贈った」

う 2-66

うちうち ① 【内内・内々】《名》①家族や親しい人たちだけであること。

㊤家里人。「結婚式は内々で行った」 類 内輪.内部 ②表に出さないこと。

ないない。㊤不公开。私下。「部長は、部下の不祥事を内々で処理した」 類

ないみつ ないしょ
内密.内緒

う 2-67

うちか・つ ③① 【打ち勝つ】《他動五》（うちかって）努力して困難や苦し

みを乗り越える。㊤战胜。克服。「数々の障害に打ち勝つ」 類 克服する

う 2-68

うちき① 【内気】《名・形動》^き気が弱^{よわ}くて、他人^{たにん}の前^{まえ}で自分^{じぶん}の意志^{いし}をはっ

き^{ひょうげん}り表現^{ひょうげん}できないこと。また、そのようす。㊥害羞^{うちき}。腠腆^{うちき}。「内気^{うちき}でおとな

しい^{せいと}生徒^{せいと}」

う 2-69

うちき・る③④ 【打ち切る】《他動五》（うちき^{つづ}って）続^{つづ}いているものを途^と中^{ちゆう}

でやめる。㊥中止^{じかん}。截止^{かいぎ}。「時間^{じかん}がないので、会議^{かいぎ}を打ち切^うる」名打ち切^うり

う 2-70

うちきん①③ 【内金】《名》^{しなもの}品物^うを受け取^とる前^{まえ}に支払^{しはら}う、代金^{だいきん}の一部^{いちぶ}。手付^{てつ}

け。㊥定金^{いえ}。预付^か的一部分^{ひてい}价款^{かい}。「家^{いえ}を買^かうことにして、内金^{うちきん}を100万円^{まんえん}払^{はら}った」

う 2-71

う 2-72

うちけし① 【打ち消し・打消】《名》^{ぶんぼう}文法^{どうさ}で、動作^{どうさ}や存在^{そんざい}や状^{じょうたい}態^うを打ち消^けす

とき^いの言^{かた}い方^{ひてい}。否定^{ひてい}。「い^いか^{かた}ない」「よ^よく^{かた}ない」など。㊥（语法^ご）否定^{かた}。対肯定^{こうてい}

注1語^ごだけ^{つか}で使^{ばあい}う場^う合^けは「打ち消^うし」、「打^う消^け文^{ぶん}」のよ^うな場^{ばあい}合^うは「打^う消^け」。

う 2-73

うちけ・す③③ 【打ち消す】《他動五》（うちけして）そうでないと否定する。㊦否定。否认。「報道された発言内容を打ち消す」 名打ち消し 対肯定する。認める

う 2-74

うちこ・む③③ 【打ち込む】（うちこんで）Ⅰ《自動五》1つのことに熱中する。㊦熱中。专心致志。「練習に打ちこむ」 類没頭する Ⅱ《他動五》①たたいたり、打ったりして中に入れる。㊦打進。敲進。「強力なサーブを打ち込む」②ボールなどを打つ練習をする。㊦击球练习。「打撃の練習に毎日300球打ち込む」③パソコンのキーボードをたたいて入力する。㊦輸入。「データをパソコンに打ち込む」 △名打ち込み

う 2-75

うちだ・す③③ 【打ち出す】《他動五》（うちだして）①主張などをはっきり示す。㊦提出。「新戦略を打ち出す」②金属板などを裏から打って、表に模様を浮きださせる。㊦锤成或压出凸花纹。「金属板に模様を打ち出す」 名打ち出し

う 2-76

うちた・てる ④① 【打ち立てる】《他動一》立派りっぱに、なしと遂げる。また、はつきりと定める。㊥樹立。創立。「世界新記録せかいしんきろくを打ち立てる」 類じゅりつ樹立する

う 2-77

うちつ・ける ④① 【打ちつける・打ち付ける】《他動一》①強つよく、しっかりと打つ。㊥釘。釘上。「窓まどに板いたを打ちつけて、台風たいふうに備そなえる」②ぶっつける。㊥撞ついとつ。「追突ついとつされて、頭あたまをフロントガラスうに打ちつけた」

う 2-78

うちでし ① 【内弟子】《名》先生せんせいの家いえに住すみこんで、雑用ざつようをしながら芸げいならを習ならう弟子でし。㊥住在师傅家中边干杂活边学艺的徒弟。「落語らくごの師匠ししょうの内弟うちで子しになる」

う 2-79

うちでのこづち ⑤ 【打ち出の小づち [槌]】《名》振ふると望のぞみのものがないでも出でるといふ、不思議ふしぎな小ちいさなつち。㊥万宝锤。「打ち出の小づちがあれば、家いえでも車くるまでも手てに入はいるのだが」 参むかし昔ものがたりの物語でに出てくる空想くうそうの物もの。

う 2-80

うちと・ける ①④ 【打ち解ける】《自動一》たがいに遠慮えんりよしないで親したしくな

る。㊦融洽相处。轻松随意。「趣味が同じだったので、すぐ打ちとけた」

う 2-81

うちぬ・く ㊦ ㊦ 【打ち抜く】《他動五》（うちぬいて）①突き刺したり掘ったりして穴をあける。㊦穿洞。打通。「トンネルを打ち抜く」②型を当てて、そのとおりに抜き出す。㊦（模型）冲压。「金属板を打ち抜いて部品をつくる」
③最後までやり抜く。㊦干到最后。坚持到底。「24時間のストを打ち抜く」

う 2-82

うちのめ・す ㊦ ㊦ 【打ちのめす】《他動五》（うちのめして）①相手が起き上がれなくなるまで、なぐる。㊦打倒。打得起不来。「強盗は、銀行員を打ちのめして逃げた」 ㊦ノックアウトする ②立ち直れないほどの大打撃を与える。
㊦打垮。搞垮。给予沉重打击。「厳しい批判が、教授を打ちのめした」

う 2-83

うちひしが・れる ㊦ ㊦ 【打ちひしがれる [打ち拉^らがれる]】《自動一》気力や勢いが、非常に弱められる。㊦被打垮。难过得要死。「原発事故に、村人たちは打ちひしがれている」

う 2-84

うちべんけい③ 【内弁慶】《名》^{かぞく たい}家族に対していばっているが、^{そと ゆうき}外では勇気がなくて何もできないこと。また、そういう人。㊥在家称雄出门怯懦的人。

窝里横。^{うちべんけい}「内弁慶だから、^{そと なに い}外では何も言えない」^{かげべんけい}類陰弁慶

う 2-85

うちまく② 【内幕】《名》^{そと}外からはわからない^{ないぶ じじょう}内部の事情。ないまく。㊥

内幕。^{かいせんとうじ ぐんぶ うちまく あか}「開戦当時の軍部の内幕が明るみに出た」^{ないじょう ないじつ}類内情・内実

う 2-86

うちみ②③ 【打ち身】《名》^{からだ つよ う}体を強く打ったとき、^{ひ ふ した}皮膚の下にできる^{きず}傷。

㊥皮下傷。撞傷。^{だぼくしょう}類打撲傷

う 2-87

うちみず② 【打ち水】《名》^{にわ みち みず}庭・道などに水をまくこと。また、その水。^{みず}

㊥洒水。洒在庭院或路上的水。「庭に打ち水をして涼しくする」

う 2-88

うちやぶ・る④① 【打ち破る】《他動五》（うちやぶって）①完全に壊す。

㊥打破。破除。^{ふる しゅうかん う やぶ}「古い習慣を打ち破る」^{だ は}類打破する ②挑戦して勝つ。㊥

打破。攻破。「^{せかいきろく}世界記録を^う打ち^{やぶ}破る」

う 2-89

うちゅう① 【宇宙】《名》^{ちきゅう}地球・^{たいよう}太陽・^{つき}月・^{ほし}星など、^{てんたい}すべての天体を含む

^{こうだい}広大な^{くうかん}空間。特に、^{ちきゅう}地球の^{たいきけんがい}大気圏外。㊦宇宙。「^{うちゅう}宇宙から^{ちきゅう}地球を^{なが}眺める//

^{うちゅう}宇宙^{ステーション}ステーション/^{空间站}空间站//^{うちゅうひこうし}宇宙飛行士/^{宇宙飛行員}宇宙飛行員」

う 2-90

うちょうてん②② 【有頂天】《名・形動》^{ほか}他のことを^{わす}忘れてしまうほど、う

れしいこと。㊦^{ゆうしょう}高兴得忘乎所以。得意洋洋。「^うゴルフで^{うちょうてん}優勝して、有頂天になる」

う 2-91

うちわ② 【うちわ〔^{団扇}団扇〕】《名》^て手で^{うご}動かして^{かぜ}風を^{おこす}起こす^{どうぐ}道具。竹や^{たけ}ブ

ラスチックの^{ほね}骨に、^{かみ}紙や^{ぬの}布をはってつくる。㊦^{団扇}団扇。㊦^{いっぽん}数1本

う 2-92

うちわ① 【内輪】《名》①^{かぞく}家族や^{かいしゃ}会社などの^{ないぶ}内部の^{ひと}人たち。㊦^{自己人}自己人。内

部。㊦^{うちうち}内々②^{じっさい}実際より^{すく}少ないこと。ひかえめ。㊦^{保守}保守。少说。「^{きぎょう}起業す

るには、^{うちわ}内輪に見ても、^み1000万円は^{まんえん}必要だ」㊦^{すく}少なめ

う 2-93

うちわけ① 【内訳】《名》^{そうがく ないよう}総額の内容を、^{こうもくべつ わ しめ}項目別に分けて示したもの。④

明細。細目。「^{がっしゅく ひよう}合宿費用の^{うちわけ}内訳を^{ほうこく}報告する」

う 2-94

うちわもめ① 【内輪もめ】《名・自動～する》^{かぞく した}家族や^{ひと}親しい人たちの^{なか}中の^{あらそ}争

い。④内部^{けっこんしき}纠纷。内^{しょうたいしゃ}讐。「^{うちわ}結婚式の^お招待者をめぐって、^お内輪もめが起きた」

類^{ないふん}内紛

う 2-95

う・つ① 【打つ】《他動五》（うって）①^{もの}物を^{もの}ほかの物に^{いきお}勢いよく^あ当てる。

④打。「^うバットで^うボールを打つ」②^{なか}たたいて^い中に入れる。④釘。砸。「^{はしら}柱にく

^うぎを打つ」③^{あめ}雨や^{かぜ}風などが^あ当たる。④（風、雨等）^{あめ}拍打。「^ど雨が^うガラス戸を打

つ」④^なたたいて^な鳴らす。④拍。敲打。「^て手を^う打って^{よろこ}喜ぶ」⑤^{ひろ}広がるように^な投げ

る。④酒。投。「^{にわ}庭に^{みず}水を^う打つ」⑥^{どうさ}たたくような^{さぎょう}動作で^う作業などをする。④

打。敲。拍。「^うパソコンの^うキーを打つ//^{でんぼう}電報を打つ」⑦^{こうい}行為や^うことばなどが、

^{ひと}人に^{かんどう}感動を^{あた}与える。④^{ふか}打动。感^{ゆうじょう}動。「^{こころ}深い^う友情が^う心を打つ」

【^う打てば^{ひび}響く】^なすこし^い何かを^う言ったり^うしたりすると、^{てきかく}すぐに^{はんのう}的確な^う反応があ

る。④^{かわ}马上^う回^{ちや}応。「『^うのどが^う渴いたな』とつぶやいたら、『はい、^うお茶』と、

う 打てば響く反応があった」

う 2-97

う・つ① 【撃つ】《他動五》（うって）銃で弾を発射する。また、ねらって

ころ殺そうとする。㊤射击。开枪。「クマを銃で撃つ//ピストルを撃つ」

う 2-98

うつうつ② 【うつうつ・鬱鬱・鬱々】《～たる連体・～と副》気が晴れな

いようす。㊤闷闷不乐。心情不舒畅。「体調がすぐれず、病名もわからず、

うつうつと日を過ごしている」 書

う 2-99

うっかり③ 《～（と）副・自動～する》注意が足りなくて、気がつかなか

ったり忘れてたりするようす。㊤不留神。无意中。「うっかりして電車に傘を忘れてきた」 類うかつ

う 2-100

うつくし・い④ 【美しい】《形》①色・形・音などが、感動するほどすぐ

れている。㊤（色、形、音等）优美。美丽。美。「美しい声で歌う//美し

い花」 類きれい ②心や行動などが、感動するほど立派だ。㊤美好。优雅。

高尚。「美しい友情で結ばれる」 類うるわしい △名美しさ 対みにく

う 3-1

うっくつ① 【鬱屈】《名・自動～する》^{きぶん は}気分が晴れないこと。㊦**抑郁**。郁
悶。^{しつぎょう しつれん}「失業と失恋で、^{うっくつ ひび}鬱屈した日々だ」 書

う 3-2

うっけつ① 【鬱血】《名・自動～する》^{からだ いちぶ じょうみやく ち}体の一部に静脈の血がたまって、
^{なが}流れにくくなること。㊦**淤血**。「^{うっけつ}鬱血して、^{けっかん あお}血管が青く、ふくれあがっている」

う 3-3

うつし③ 【写し】《名》^{ひか}控えとして^{うつ}写した^{しよるい}書類。㊦**复本**。**摹本**。**抄本**。「^{けいやくしょ}契約書の
^{うつ ほぞん}写しを保存しておく」 類 コピー

う 3-4

うつ・す② 【写す】《他動五》（うつして）①^{ぶんしょう え}文章や絵を、そのとおりに別の
もの^かに書く。㊦**抄写**。**摹写**。「^{こくばん じ}黒板の字を、ノートに^{うつ}写す」②^{しゃしん}写真にとる。㊦
拍照。「^{うつ}デジカメで写す」③^{み かん}見たこと感じたことなどを、^{ぶんしょう え}文章や絵にする。

㊦**描写**。**描绘**。「^{たびさき ふうけい}旅先の風景をスケッチブックに^{うつ}写す」 △^{うつ}名写し ^{うつ}自動写る

う 3-5

うつ・す② 【映す】《他動五》（うつして）水・鏡・スクリーンなどの平らな面に、物の形や色を表す。㊦映。照。映現。「鏡に顔を映す//テレビが事件の現場を映している」 名映し 自動映る

う 3-6

うつ・す② 【移す】《他動五》（うつして）①人や物を、他の場所へ動かす。㊦移動。挪動。「植木鉢を日の当たる場所へ移す」 類移動する ②ものごとを進める。㊦着手。开始进行。「計画を実行に移す」 ③〔うつす〕病気などを伝染させる。㊦传染。「妹に風邪をうつしてしまった」 ④においなどが他のものにしみるようにする。㊦熏染。染上（味道）。「ハンカチに香りをうつす」 ⑤気持ちを別のほうに向ける。㊦转移。改变。「関心に移す」 △自動移る

う 3-7

うっすら③ 《～（と）副》とても薄く、かすかなようす。㊦稍微。隐约。「空がうっすらと明るくなる」

う 3-8

うっせき① 【鬱積】《名・自動～する》心の中に、不平や不満などがたまること。㊦郁积。郁结。「不満が鬱積する」

う 3-9

うっそう① 【うっそう〔鬱蒼〕】《～と副・～たる連体》木や草がたくさ
ん茂^{しげ}って、薄暗^{うすぐら}いようす。㊦郁郁葱葱。繁密茂盛。 「うっそうたる原生林^{げんせいりん}」

う 3-10

うった・える④③ 【訴える】《他動一》①正しい判断^{ただ}を裁判所^{はんだん}に求め^{さいばんしょ}る。㊦
訴訟。控訴。「事故^{じこ}の補償^{ほしょう}でもめて、裁判所^{さいばんしょ}に訴^{うった}えた」②自分のつらいこと
を人に告^{ひと}げる。㊦诉说。申诉。「クラスでのいじめを先生^{せんせい}に訴^{うった}える」③相手の
気^きもちや感^{かん}情^{じょう}に働^{はたら}きかける。㊦感动。打动。「選挙民^{せんきよみん}の良識^{りょうしき}に訴^{うった}える」④
解決^{かいけつ}するための手段^{しゅだん}として使^{つか}う。㊦诉诸。行使。「腕力^{わんりょく}に訴^{うった}える//武力^{ぶりょく}に訴
える」△名 訴え

う 3-11

うっちゃ・る③ 《他動五》（うっちゃって）①投げ捨^なてる。㊦扔。丢。「か
ばんを玄関^{げんかん}にうっちゃって、遊び^{あそ}に出^でかける」②世話^{せわ}をしないで、ほうって
おく。㊦扔下不管。抛开不管。「病^{びょう}気^きの妻^{つま}をうっちゃっておいて、仕事^{しごと}に出^でか
けた」③不利^{ふり}な形勢^{けいせい}を、最後^{さいご}のところ^{ところ}で逆^{ぎやく}転^{てん}して勝^かつ。㊦最后关头转败为胜。
(相扑) 最后把逼过来的对方扔出场地。「大関^{おおげき}は、土俵^{どひょう}ぎわで横綱^{よこづな}をうっち

やって勝^かった」 名 うっちゃり

う 3-12

うつつ ②③ 【うつつ [現]】 《名》 ① 実^{じっさい}際にあること。目^めが覚^さめている状^{じょう}

態^{たい}。 ④ 现实^{じゆつ}。「夢^{ゆめ}とうつつの間^{あいだ}をさまよう」 対^{たい}夢^{ゆめ} 類^{るい}现实^{げんじつ} ② 気^きがしっかり

している状^{じょう}態^{たい}。 正^{しょう}気^き。 ④ 神^{しん}志^し清^{せい}醒^{せい}。 正^{しょう}常^{じょう}的^{てき}意^い识^し状^{じょう}態^{たい}。「麻^{ます}醉^{すい}が覚^さめてうつつにもどった」

【うつつを抜^ぬかす】 何^{なに}かに夢^む中^{ちゆう}になっ^てて、正^{しょう}気^きをなくす。 ④ 神^{しん}智^ち不^ふ清^{せい}。 神

魂^{こん}顛^{てん}倒^{たう}。「ゲームにうつつを抜^ぬかして、勉^{べん}強^{きやう}が手^てにつかない」

う 3-14

うってかわ・る ① 【打^うって変^へわる】 《自^じ動^{どう}五^ご》 (うってかわって) 態^{たい}度^どや状^{じょう}態^{たい}

が、すっ^かかり変^へわる。 ④ 变^へ得^{とく}截^{せつ}然^{ぜん}不^ふ同^{どう}。 大^{だい}变^{へん}样^{じやう}。「き^{さむ}のうの寒^{さむ}さと打^うって変^かわ

って、き^{あたた}ょうは暖^{あたた}かい」

う 3-15

うってつけ ④ 【うってつけ・打^うって付^つけ】 《名》 ぴ^あたりと合^あうこと。 ④

理^り想^{じやう}。 恰^ね当^{だん}。「値^ね段^{だん}が安^{やす}くて量^{りやう}が^{おお}多^{おほ}い、若^{わか}者^{もの}にう^しって^じつ^くけの食^{しょく}堂^{どう}」 類^{るい}最^{さい}適^{てき}

う 3-16

うって・でる① 【打って出る】《自動一》自分から積極的^{じぶん せつきよくてき}に出る。㊥出馬。

亲自出面。「国^{くに}の将来^{しょうらい}に責任^{せきにん}を持とうと、衆議院選挙^{しゅうぎいんせんきょ}に打って出た」

う 3-17

うっとうし・い⑤ 【うっとうしい・鬱陶しい】《形》①心^{こころ}がはればれしな

い。㊥沉闷。阴郁。「風邪^{かぜ}が治らなくて、うっとうしい気分^{きぶん}だ」②じゃまで、

うるさい感じだ。㊥压烦。不痛快。「髪^{かみ}が伸びすぎて、うっとうしい」△名

うっとうしさ

う 3-18

うっとり③ 《～（と）副・自動～する》すばらしいと思^{おも}うものにすっかり心^{こころ}

をうばわれて、快^{こころよ}い気分^{きぶん}でいるようす。㊥陶醉。入迷。「名歌手^{めいかしゅ}の歌^{うた}に、

うっとり^きと聞きほれる」 類^{こうこつ}恍惚

う 3-19

うつびょう⑩ 【うつ病・鬱病】《名》意欲^{いよく}が出ない、眠れ^{ねむ}ない、疲れ^{つか}れやす

いなどの症^{しょうじょう}状^{じょう}が出て、日常^{にちじょう}の生活^{せいかつ}が送れ^{おく}なくなる病^{びょうき}気。㊥忧郁症。抑郁症。

対^{びょう}そう病

う 3-20

うつぶせ① 【うつぶせ〔俯せ〕】《名》顔や腹を下にして寝る状態。うつむけ。㊥俯臥。趴着。「子どもが、うつぶせに寝ている」 自動うつぶす 対あおむけ

う 3-21

うっぶん② 【鬱憤】《名》長い間がまんして、心の中にたまった怒りや不満。㊥郁憤。积恨。「スキーで思いっきり滑って、仕事のうっぶんを晴らした」 類憤懣

う 3-22

うつむ・く③④ 【うつむく〔俯く〕】《自動五》（うつむいて）頭をたれて下を向く。㊥低头。耷拉脑袋。「しかられて、うつむく」 名うつむき 他動うつむける 対あおむく

う 3-23

うつらうつら④ 《～（と）副・自動～する》眠かったり、高い熱があったりして、意識がはっきりしないようす。㊥迷迷糊糊。昏昏沉沉。「テレビを見ながら、うつらうつらと居眠りをする」 類うとうと

う 3-24

うつりかわ・る⑤① 【移り変わる】《自動五》（うつりかわって）時とともに変化していく。㊦**变迁**。「ことばは時代とともに移り変わる」名移り変わり 類変遷する. 推移する

う 3-25

うつりぎ③① 【移り気】《名・形動》興味や関心が、次から次へと変わること。㊦**喜好不定**。**见异思迁**。「移り気で、何度も職業を変えている」類飽きっぽい. 飽き性

う 3-26

うつ・る② 【写る】《自動五》（うつって）写真などに姿・形が現れる。㊦（**照片等上**）映出。**照出**。「家族全員が写っている写真」名写り 他動写す

う 3-27

うつ・る② 【映る】《自動五》（うつって）①光の反射などによって、物や色が、ほかの面に現れる。㊦**映**。**映現**。「湖面に富士山が映る」②テレビや映画などに現れる。㊦**放映出来**。「防犯カメラに犯人が映っていた」△他動映す
③色や形が調和して、似合っている。㊦（**色彩、样式等**）**协调**。**搭配**。「黄色

のスカートが、服によく映っている」 △名映り

う 3-28

うつ・る② 【移る】《自動五》（うつって）①人や物が、ほかの場所へ動く。

④**转移。搬迁。**「本社が大阪から東京に移る」 類移転する. 移動する ②次の

段階に進む。④**移至。进入到**（下一个阶段）。「冬から春に季節が移る」③時が

過ぎる。④**变迁。**「時が移り、人々は去って行った」④〔うつる〕病気など

が伝染する。④**传染。**「妹の風邪がうつったらしい」⑤においなどが他のもの

につく。④**熏。染到。**「タバコのおいが服に移る」⑥気持ちが別のほうに

むく。④**转移。心意改变。**「経済から政治へ、関心が移ってきた」 △他動移す

う 3-29

うつろ① 【うつろ〔虚〕ろ】《形動》①中身が、からっぽのようす。④**空。**

空洞。「枯木の幹がうつろだ」②心がからっぽで、ぼんやりしているようす。

④**空虚。呆滞。**「家族も財産も失った人たちは、うつろな表情で立ちつく

した//うつろな目

う 3-30

うつわ① 【器】《名》①中に物を入れる容器。㊥容器。器皿。②すぐれた能

りょくやさいのうがあること。㊥人才。才干。「副大統領は以前から、大統領の器

だと言われている」 ㊥器量

う 3-31

うで② 【腕】《名》①体の肩から手首までの部分。㊥胳膊。手臂。㊥数1本

②身につけた技能。㊥本领。技能。「料理の腕を上げる//腕のいい大工//腕

どけい/時計/手表」

.....「腕」の慣用表現.....

【腕が上がる】上手になる。㊥技艺提高。本领增强。「将棋の腕が上がる」

㊥対腕が落ちる ㊥似た表現 手が上がる。腕を上げる

【腕が鳴る】自分の才能や実力を示したくて、じっとしてられない。㊥摩

拳擦掌。「パーティーの料理を任されて、腕が鳴る」

【腕によりをかける】自分の腕前を見せようと張りきる。㊥拿出全部本事。

使出浑身解数。「腕によりをかけて、弁当をつくる」

【腕をこまねく】何かをしなければいけないときに、何もしていないでいる。腕を

こまねく。㊥袖手旁観。「濁流にのまれる車を、腕をこまねいて見てい
るほかなかった」

【腕を振るう】自分の技能を十分に出す。㊥施展才能。「宮大工は、五重塔

の修復に腕を振るった」

.....

う 3-37

うできき ㊥㊦ 【腕利き】《名・形動》すぐれた能力や技術を持つこと。

また、その人。㊥有本领（的人）。有能耐（的人）。能手。「腕利きの弁護士」

類腕っこき.腕こき

う 3-38

うでぐみ ㊥㊦ 【腕組み】《名・自動～する》両方の腕を、胸の前で組み合わ

せること。㊥抱着胳膊。「腕組みをして、次の手を考える」

う 3-39

うでまえ ㊥㊦ 【腕まえ・腕前】《名》仕事をする能力・技術。㊥能力。

才干。本事。「腕まえが評判の大工に家を建ててもらおう」 類手腕.技能.技量.

りきりょう
力量

う 3-40

うでまくり③ 【腕まくり】《名・自動～する》①服などの袖を、ひじの上ま
でまくること。㊥卷起袖子。②張りきったようす。㊥跃跃欲试。「父親とキ
ャッチボールをしようと、少年は腕まくりして待っている」

う 3-41

うてん① 【雨天】《名》雨の天気。㊥雨天。「雨天決行//雨天順延」 ㊥晴天

う 3-42

うと・い② 【疎い】《形》①あまり親しくない。㊥疏远。「洋子とは、卒業以
来、うとくなつた」 ㊥親しい ②事情をよく知らない。㊥不了解。生疏。「IT
関係にはうとい//流行にうとい」 ㊥詳しい

う 3-43

うとうと① 《～（と）副・自動～する》浅く眠っているようす。また、眠り
かけているようす。㊥昏昏欲睡。似睡非睡。「勉強しながら、つい、うとう
とする」 ㊥うつらうつら

う 3-44

うどのたいぼく 【うど〔独活〕の大木】《名》大きいだけで役に立たない人
のたとえ。㊥大草包。「体ばかり大きくて、机も運べないうどの大木だ」

う 3-45

うとまし・い④ 【疎ましい】《形》なんとなく気にいらなくて、いやだ。

④讨厌。厌烦。「両親の期待が重荷で、うとましくなる」
名疎ましき 対好ましい 類いとわしい

う 3-46

うどん① 【うどん〔饅'饨〕】《名》小麦粉を水でこねて伸ばし、細く切っ

た麺。④面条。乌冬面。「うどんをゆでる」
数ゆでたものは1玉.干したものは1把.1束

う 3-47

うとん・じる④ 【疎んじる】《他動一》嫌って遠ざける。うとむ。うとん

ずる。④冷漠对待。怠慢。「娘は口うるさい親をうとんじて、家を出た」

う 3-48

うなが・す①③ 【促す】《他動五》（うながして）①相手に早くするように

せきたてる。④催。催促。「借金を早く返すように促した//返事を促す」
類

催促する.急がせる ②そうするようにすすめる。④敦促。「再考を促す//注

意を促した」

う 3-49

うなぎ① 【ウナギ〔鰻〕】《名》^{さかな いっしゆ ほそなが}魚の一種。細長くぬるぬるしていて、川で

^{せいちょう うみ たまご う}成長して海で卵を産む。㊥^や鰻魚。「ウナギのかば焼き」^{いっぴき}数1匹

う 3-50

うなぎのぼり④ 【うなぎ登り〔鰻登り〕】《名》^{ねだん ちい きおん}値段・地位・気温などが急

^{そく あ}速に上がること。㊥^{ぶっか}直线上升。「インフレで、物価がうなぎ登りだ」

う 3-51

うなさ・れる① 《自動一》^{ねむ}眠っているときに、^{くる}苦しそうな^{こえ}声を出す。㊥^だ魔

^{ゆめ み}住。发出梦魔之声。「こわい夢を見て、うなされた」

う 3-52

うなず・く③④ 【うなずく〔頷く〕】《自動五》（うなずいて）「わかった」

「そうだ」などの^{きも つた}気持ちを伝えるために、^{くび たて ふ}首を縦に振る。㊥^ふ点头。首肯。『こ

^{ほんよ}の本読む？』と^き聞いたら、^こ子どもは『うん』とうなずいた」

う 3-53

うなだ・れる①④ 【うなだれる〔項垂れる〕】《自動一》^{かな}悲しみ・^{らくたん}落胆・^は恥ず

^{くび まえ}かしさなどのために、首を前にたれる。㊥（因为悲伤、沮丧、羞愧等）垂头。

^{おとうと にゅうがく しけん お}耷拉脑袋。「弟は入学試験に落ちて、うなだれて帰ってきた」^{かえ}類うつむく

う 3-54

うなりごえ④ 【うなり声〔唸り声〕】《名》犬や猫のうなる声。㊦呻吟声。

呜呜叫。「そばに近づくと、犬はウーッとうなり声をあげた」

う 3-55

うな・る② 【うなる〔唸る〕】《自動五》（うなって）①人や動物が、長く低い

声を出す。㊦呻吟。「病人は痛みがひどくて、うんうんうなっている」②音が

長く鳴る。㊦轰鸣。「モーターボートが、うなりながら走る」△名うなり ③

力を入れて、声をしぼりだすようにして歌う。㊦勉强发出高声地唱。「謡曲

をうなる」④思わず感心する。㊦叫好。「見事な演奏に、コンクールの審査員

はうなった」⑤（「うなるほど～」の形で）お金や宝石などがたくさんある。

㊦有的是…。「伯母の家には、お金がうなるほどある」

う 3-56

うぬぼ・れる① 【うぬぼれる〔自“惚”れる〕】《自動一》人より自分のほう

がすぐれていると思う。㊦自负。自大。骄傲。「兄は、学校の成績が1番だと

うぬぼれている」名うぬぼれ

う 3-57

うねうね① 《～(と)副・自動～する》①山や波が、高く低く続くようす。

㊤蜿蜒起伏。连绵起伏。「山並みが、うねうねと続いている」②道や川など

が、左右に曲がりくねって続くようす。㊤蜿蜒曲折。弯弯曲曲。「機上から、

川が大平原をうねうねと流れているのが見えた」△類くねくね

う 3-58

うね・る② 《自動五》(うねって)①曲がりくねりながら続く。㊤弯曲绵延。

蜿蜒。「山道は、うねりながら頂上まで続いている」②高く低く、大きくゆ

っくり動く。㊤起伏。翻騰。「波がうねるに任せて、ボートは上下に揺れる」

△名うねり

う 3-59

うのみ③① 【うのみ〔鵜呑み〕】《名》(「うのみにする」の形で)もの

ごとをよく理解しないまま、全部受け入れてしまうこと。㊤囫圇吞枣。「教授

の説をうのみにして、学会で発表する」△類丸のみ

う 3-60

うば・う②① 【奪う】《他動五》(うばって)①相手から無理に取りあげる。

㊤奪。抢。夺去。「戦争は父の命をうばった//自由をうばう」△対与える ②

心を強くひきつける。㊤强烈吸引住。迷住。「美しい景色に心をうばわれ

る」

う 3-61

うぶ① 【うぶ〔初〕】 《名・形動》①世慣れていないで純情なこと。また、そのようす。㊥**未经世事。纯真。**「新入社員はうぶで、来客と世間話ができない」②男女のことに経験のないこと。㊥**纯洁。情窦未开。**「若い恋人たちの、うぶなところがほほえましい」

う 3-62

うぶげ② 【産毛】 《名》①生まれたときから生えている、赤ん坊の髪の毛。㊥**胎毛。**②体に生えている薄くて柔らかな毛。また、植物の若い芽や葉に生えている毛。㊥**细细的汗毛。绒毛。**「木の芽の薄いうぶ毛に、春を感じる」

う 3-63

うぶごえ②③ 【産声】 《名》赤ん坊が生まれたときに、初めて出す泣き声。㊥**（婴儿落地的）呱呱声。**「元気なうぶ声を上げる」

う 3-64

うま② 【馬】 《名》家畜の一種。力が強く、走るのが速い。乗馬・競馬などに使う。㊥**马。**「馬で草原を駆けめぐる//馬にまたがる」 数 1頭. 1匹

【うまが合う】たがいの^あ気持ち^{きも}が^あ合う。㊥**投縁。合得来。**「^{かんどく}監督とうまが^あ合わ

なくて、チームをやめた」**似た表現**気が^あ合う

【^{うま}馬の^{みみ}耳に^{ねんぶつ}念仏】いくら^{ちゅうこく}忠告したり^{いけん}意見を^い言ったりしても、^き聞き^い入れようと

しないこと。㊥**对牛弹琴。马耳东风。****似た表現**馬^ば耳^じ東^{とう}風^{ふう}

う 3-67

うま・い② 【うまい】《形》① [旨^{あじ}い] 味が^{あじ}いい。おいしい。㊥**美味。好**

吃(喝)。可口。「この店^{みせ}の^{りょうり}料理はどれもうまい//うまい酒^{さけ}だ」**対**まずい ②

[^{じょうず}上手い] 上手^{じょうず}だ。㊥**高超。好。棒。**「一郎^{いちろう}は^え絵がうまい//マリー^{にほんご}は日本語が

うまくなった」**対**下手^{へた} ③ [旨^{あじ}い] 都合^{つごう}がいい。㊥**顺利。好(話)。美(事**

儿)。「仕事^{しごと}がうまくいく//うまい話^{はなし}には裏^{うら}がある」△**名**うまさ.うまみ

【うまい汁^{しるす}を^す吸う】地位^{ちい}や他人^{たにん}などを利用して、利益^{りえき}を得^える。㊥**占便宜。捞**

油水。「地下鉄^{ちかてつ}の開通^{かいつう}で土地^{とち}が値上^{ねあ}がりして、不動産屋^{ふどうさんや}はうまい汁^{しるす}を^す吸っ

た」**似た表現**甘い汁^{あま}を^{しるす}吸う

う 3-69

うまうまと①③ 《副》^{じょうず あいて}上手に相手をだまして、^{じぶん おも}自分の思いどおりにするよ

うす。㊥巧言(蒙騙)。轻易地(使人上钩)。「骨董屋にうまうまとだまさ

れて、偽物の皿を買わされた」^{にせもの さら か}類まんまと

う 3-70

うま-ず-たゆま-ず 【^あ倦まず^{なま}撓まず】《連語》飽きたり怠けたりしないで、

^{つづ}続けるようす。㊥不屈不撓。「^{ねんかん のうぎょう}30年間、農業をうまわずたゆまず^{つづ}続けてきた」

う 3-71

うまみ①③ 【うま味 [旨味]】《名》①おいしさを感じさせる味。^{あじ}㊥鮮味。

「^{やさい}野菜のうまみがよく^で出ているスープ」②^{げい}芸などが^{じょうず}上手なこと。㊥^{げい}妙技。「芸

にうまみが出てきて、いい^{やくしゃ}役者になった」③^{しょうばい}商売などで^{りえき}利益が多く^{おお}出ること。

㊥^{えんだか}赚頭。油水。「^{ゆにゆうさんぎょう}円高のときは、輸入産業はうまみがある」

う 3-72

うま・る① 【埋まる】《自動五》(うまって)①くぼんだ^{ところ}所に物が^{もの}つまっ

て、^{たい}平らになる。㊥^{なが}填平。「^こ流れ込む^{どしゃ}土砂で、^{いけ}池が^う埋まった」②^{うえ}上からおお

われて^み見えなくなる。㊥^{ゆき}覆盖。(被)埋上。「^{みち}雪で^う道が埋まる」③^うすきまが

ないほど、^{きやくせき}いっぱいになる。㊥^{まんいん}挤満。塞满。「^{きやく}客席が、^{ぜんぶ}満員の客で全部埋ま

った」④欠^かけていたものや損失^{そんしつ}が、もとのとおりになる。㊦**填补。补全。**「欠員^{けつゐん}

が埋^うまる」 △**他動**埋^うめる **類**埋^{うず}まる⇒**比較** ^{ひかく}

う 3-73

うまれ**㊦** 【生まれ】《名》^う生まれた^{とき}時・^{ばしょ}場所。また、^う生まれた^{いえ}家^{じょうたい}の状態。

㊦**出生（時間、地点）。出身。家境。**「生まれは大阪だ// 旧家の生まれ」

う 3-74

うまれお・ちる**㊦** 【生まれ落ちる】《自動一》この世^よに^う生まれ^で出る。㊦**生**

下。出生。「生まれ^お落ちて^{ははおや}すぐ、母親^しが死んだ」

う 3-75

うまれかわ・る**㊦** 【生まれ変わる】《自動五》（うまれかわって）①死^しん

だ^{あと}後、もう一度^{いちど}ほかのものになっ^うて生まれる。㊦**转生。转世。**「あの立派な^{りっぱ}

指導者^{しどうしゃ}は、^{ほとけ}仏^うが生まれ^か変わった^{すがた}姿^{せいかく}かもしれない」②**性格・考^{かんが}え方・状^{かた}態**な

どが、すっかり別^{べつ}のもの^かのように^か変わる。㊦**脱胎换骨。全新变化。**「地震^{じしん}の後^{あと}、

古い^{ふる}住宅^{じゅうたく}が^{こうそう}高層^うマンション^かに生まれ^か変わった」 △**名**生まれ^う変わ^かり

う 3-76

うまれこきょう④ 【生まれ故郷】《名》生まれ^う育^{そだ}った土地^{とち}。ふるさと。㊥
故郷。出生地。

う 3-77

うまれつき① 【生まれつき】《名・副》生まれたときから、その性質^{せいしつ}を持つ^もていること。㊥**生来**。**天生**。「運動神経^{うんどうしんけい}がいいのは生まれつきだ」自動生まれつく 類生来^{せいらい}

う 3-78

うま・れる① 《自動一》①【生まれる・産まれる】①体^{からだ}や卵^{たまご}から子^こが出てくる。㊥**生**。**出生**。「3月に妹^{いもうと}が生まれた//生まれて初めての体験^{たいけん}」名生まれ 他動生む^う・産む^う 対死ぬ^し ②【生まれる】新^{あた}しくつくりだされる。㊥**产生**。
出現。「ケータイの新製品^{しんせいひん}が、つぎつぎと生まれる//愛^{あい}が生まれる」他動生む^う

う 3-79

うみ① 【海】《名》①地球^{ちきゅう}の表面^{ひょうめん}上で、塩水^{しおみず}をたたえている大きな部分^{おおぶぶん}。
㊥**海**。**海洋**。「海^{うみ}にかこまれた国^{くに}//海^{うみ}を渡る」対陸^{りく} ②「①」のように、一面^{いちめん}に広^{ひろ}がっているもの。㊥**像海一样**。**汪洋一片**。「空襲^{くうしゅう}で、町^{まち}は火^ひの海^{うみ}になった」

【海^{うみ}の物^{もの}とも山^{やま}の物^{もの}ともつかない】まだどうなるか予測^{よそく}できない。㊤未知数。

难以预测。「新薬^{しんやく}を開発^{かいはつちゆう}中^{ちゆう}だが、まだ海^{うみ}のものとも山^{やま}のものともつかない」

う 3-81

うみ② 【うみ〔膿〕】《名》①傷^{きず}やはれものの、化膿^{かのう}した部分^{ぶぶん}から出る、黄色^{きいろ}

がかった液^{えき}。のう。㊤脓。「傷口^{きずぐち}が化膿^{かのう}して、うみ^もを持った」②社会^{しゃかい}や組織^{そしき}の

中^{なか}に長い間^{ながあいだ}たまっていて、害^{がい}になっているもの。㊤积弊。「久积^{きうせき}之^の弊端^{へんたん}。「政

治家^{じか}と企業^{きぎょう}の癒着^{ゆちやく}のうみ^だを出す」

う 3-82

うみなり① 【海鳴り】《名・自動～する》海^{うみ}から聞こえてくる響き^き。雷^{ひび}の^{かみなり}

鳴る^なような低い音^{ひくおと}。また、波^{なみ}が海岸^{かいがん}に打ち寄せて砕ける音^{くだおと}。㊤海鸣。海浪拍

岸声。「ものすごい海鳴り^{うみな}とともに、大津波^{おおつなみ}が押し寄せた」

う 3-83

うみ-の-おや⑤ 【生みの親】《連語》①その人^{ひと}を生んだ親^{うおや}。実^{じつ}の親^{おや}。㊤亲

生父母。対^{そだ}育て^{おや}の親^{おや} ②苦心^{くしん}して物^{もの}をつくりだした人^{ひと}。㊤创始人。「フレミ

ングはペニシリンの生み^うの親^{おや}だ」

う 3-84

うみ-の-くるしみ⑥⑦ 【産みの苦しみ】《連語》①出産しゅっさんのときの激しい痛はげみ。**㊤**臨産前いた的疼痛。阵痛。②新あたしいことを始はじめたり、つくりだしたりする
ときの苦くろう。㊤**创作的艰难**。「長ながい産うみの苦くるしみをへて、飛ひ行こう機きは実用化じつようかされた」

う 3-85

うむ① 【有無】《名》あるか、ないか。㊤**有无**。有**没有**。「商しょう品ひんの在ざい庫この
有う無むを調しらべる」**書**

㊤**有無を言うわさず**「相あ手ての都つ合ごうに關かん係けいなく。㊤**不容分说**。「有う無むを言いわさず、
海かい外がいに出しゅ張つちやうさせる」

う 3-87

う・む⑧ 《他動五》(うんで) ①【生む・産む】人ひとや動どう物ぶつが、子こ・卵たまごを体からだの
外そとへ出だす。㊤**生**。下。产。「ニワトリが卵たまごを産うんだ」②【生む】新あたしくつ
くりだす。㊤**产生**。「環かん境きやうを守まもる意い識しきが、電でん氣き自じ動どう車しゃを生うんだ」△**自動**生うま
れる。産うまれる

う 3-88

う・む① 【うむ〔膿む〕】《自動五》（うんで）^{きず}傷やできものが^{かのう}化膿して、

うみを持つ。④化膿。「ひざの^{きず}傷がうんで^{いた}痛い」^{かのう}類化膿する

う 3-89

うめ② 【梅】《名》^{はる}春の^{はじ}初めに、^{しろ}白や^{はな}ピンクの^さ花が^き咲く木。また、その^{はな}花。

④梅樹。梅花。数^{いっぽん}1本。花は^{いちりん}1輪

う 3-90

うめあわせ③ 【埋め合わせ】《名・他動～する》^{ふそく}不足や^{そんしつ}損失を^{おぎな}補うこと。

④填補。弥补。「^{めいわく}迷惑をかけたので、^う埋め^あ合わせに^{ゆうしょく}夕食をごちそうする」

^う他動埋め^あ合わせる

う 3-91

うめ・く② 【うめく〔呻く〕】《自動五》（うめいて）^{くる}苦しくて^{ひく}低い^{こえ}声で

うなる。④呻吟。「^{いえ}家の^{したじ}下敷きになった^{ひさいしゃ}被災者は、^{くつう}苦痛にうめいていた」

う 3-92

うめた・てる④ 【埋め立てる】《他動一》^{かわ}川や^{かいがん}海岸などに^{どしゃ}土砂を^い入れて、^{たい}平

らな^{とち}土地をつくる。㊦填海（河、湖等）造地。「湾を埋め立てて、新しい町をつくる」
名埋め立て

う 3-93

うめぼし[㊦] 【梅干し】《名》梅の実を塩漬けにして干した食品。味はすっぱい。㊦（用盐）腌制的梅子。咸梅干。

う 3-94

う・める[㊦] 【埋める】《他動一》①土などの中に入れて見えないようにする。㊦埋。填。「穴を掘ってごみを埋める」②すきまがないほど、いっぱいにする。㊦擠満。填满。「応援団が会場を埋めた」③くぼんだ所や、すき間などに、物をつめて平らにする。㊦填平。填实。「グランドの水たまりに、土を入れて埋める」④欠けていたものや損失などを、もとのとおりにする。㊦补足。填补。「欠員を埋める//赤字を埋める」⑤熱い湯に水を入れて、温度を下げる。㊦（往热水里）对凉水。「風呂が熱すぎたので、水で埋めた」△[㊦]自

動埋まる 類うずめる

う 3-95

うも・れる[㊦] 【埋もれる】《自動一》①上からおおわれて見えなくなる。㊦（被）埋上。（被）埋住。「雪に埋もれた道を除雪する」②すぐれた才能や人材

が、^{ひと}人に^し知られないでいる。㊥(被)埋没。^{きょうし}「教師は、^{せいと}生徒の^う埋もれた^{さいのう}才能を
ひ
引きだした」△**類**うずもれる

う 3-96

うやうやし・い**⑤** 【恭しい】《形》^{あいて}相手を^{うやま}敬って、^{れいぎ}礼儀正しく^{ただ}丁寧に^{ていねい}ふる
まうようす。㊥**毕恭毕敬**。**彬彬有礼**。「^{てんいん}店員は、^{きやく}客にうやうやしく^{あたま}頭を^さ下げ
た」**名**うやうやしさ

う 3-97

うやま・う**③** 【敬う】《他動五》(うやまって) ^{あいて}相手を^{そんけい}尊敬して、^{たいせつ}大切に^{あつか}扱
う。㊥**尊敬**。**敬重**。「^{そふぼ}祖父母を^{うやま}敬う//^{かみ}神を^{うやま}敬う」

う 3-98

うやむや**⑩** 《名・形動》ものごとがはっきりしないで、あいまいなこと。
また、そのようす。㊥**含糊不清**。**稀里糊涂**。「^{きぎょう}企業は、^{じこ}事故の^{せきにん}責任をうやむ
やにしたままだ」

う 3-99

うようよ**①** 《～(と)副・自動～する》^{ちい}小さい^{むし}虫などが^{あつ}たくさん集まり、
それぞれ^{うご}動いているようす。㊥(密密麻麻地)**蠕動**。「^{いし}石をのけたら、^{しろ}白い^{むし}虫
がうようよ^で出てきた」

う 3-100

うよきよくせつ① 【**紆**余曲折】《名・自動～する》いろいろな事情があつて、複雑な動きをへること。㊦**波折**。風風雨雨。「メンバーや予算案を入れ替えるなど**紆余曲折**の末、事業がスタートした」

う 4-1

うよく① 【**右翼**】《名》①飛行機の右側のつばさ。㊦**右翅膀**。右翼。②保守主義・国粋主義の思想。また、そういう思想の人の集まり。㊦**右翼**。右派。「右翼団体」△**対**左翼

う 4-2

うら② 【**裏**】《名》①物の2面のうちの見えない側。表の反対側。㊦**背面**。**反面**。「絵の裏に名前を書く//足の裏」②建物の後ろ。㊦**后面**。「店の裏からごみを出す」③服の内側につける布。㊦**里子**。「コートに絹の裏をつける//裏地」④外側からはわからない内部の事情。㊦**内幕**。内情。「政治の裏をあばく//裏金」△**対**表

【**裏をかく**】相手の予想とは反対のことをする。㊦**钻空子**。出乎意料。「敵の裏をかいて、正月に攻撃を開始した」

う 4-4

うらうち④ 【裏打ち】《名・他動～する》①薄^{うす}い紙^{かみ}や布^{ぬの}の裏^{うら}に、別^{べつ}の紙^{かみ}などをはって丈夫^{じょうぶ}にすること。㊥裱^{せう}里^り。㊥確^{かく}実^{じつ}であると、証^{しょう}明^{めい}すること。㊥

証^{しょう}実^{じつ}。「彼^{かれ}の発^{はつ}言^{げん}を裏^{うら}打^うちする証^{しょう}拠^こがある」

う 4-5

うらうらと① 《副》日^ひざしが暖^{あた}かく、のどかなようす。㊥暖^{なん}洋^{やう}洋^{やう}地^ち。「うらうらと照^てる、春^{はる}の日^ひを浴^あびながら散^{さん}歩^ぽする」 ㊥うららかに

う 4-6

うらおもて① 【裏表】《名》①裏^{うら}と表^{おもて}。㊥正^{せい}反^{はん}。表^{ひょう}里^り。「紙^{かみ}の裏^{うら}表^{おもて}を確^{たし}かめてから印^{いん}刷^{さつ}する」②人^{ひと}の表^{ひょう}面^{めん}の行^{こう}動^{どう}と、考^{かん}えていること^{ちが}が違^{ちが}っていること。㊥表^{ひょう}里^り不^ふ一^{いつ}。「裏^{うら}表^{おもて}のな^ない率^{そつ}直^{ちよく}な人^{ひと}柄^{がら}」③裏^{うら}を表^{おもて}にすること。㊥表^{ひょう}里^り

相^{さう}反^{はん}。「あわてていて、セーターを裏^{うら}表^{おもて}に着^きていた」

う 4-7

うらがき① 【裏書き】《名・自動～する》①小^こ切^ぎ手^てなどの書^{しょ}類^{るい}の裏^{うら}に、保^ほ証^{しょう}や承^{しょう}認^{にん}の意^い味^みで、住^{じゅう}所^{しよ}や名^な前^{まえ}をか^か書^かくこと。㊥背^{はい}書^{しよ}。背^{はい}簽^{しん}。②ある事^じ実^{じつ}を、別^{べつ}

の面^{めん}から証^{しょう}明^{めい}すること。㊥証^{しょう}実^{じつ}。証^{しょう}明^{めい}。「ア^{うら}リ^がバイを裏^{うら}書^がきする証^{しょう}拠^こが出^でた」

う 4-8

うらかた① 【裏方】《名》^{ぶたい うし ひつよう どうぐ ふく ようい ひと}舞台の後ろで、必要な道具や服などを用意する人。

④后台工作人员。 ^{おもてかた}対^{おもて}表方 ②表には出ないで、^{うら}裏^{じっさい ひつよう}で実際に必要な仕事をす

る人。④幕后工作者。「^{かいぎ うらかた}会議の裏方として、^{かいじょう}会場の^{せつえい}設営や^{こうしょう}交渉^とを取り仕^{しき}切る」

う 4-9

うらがなし・い⑤① 【うら悲しい】《形》なんとなく^{かな}悲しい。④不由得悲

傷。略感悲伤。「^{ばんしゅう ゆうぐ}晩秋の夕暮れは^{がな}うら悲しい」 ^{がな}名うら悲しさ ^{がな}類もの悲しい

う 4-10

うらがね① 【裏金】《名》^{おもて だ}表に出さないで、^{かげ}陰^とでやり取りする^{かね}お金。④好
处费。

う 4-11

うらぎ・る③ 【裏切る】《他動五》（うらぎって）①^{やくそく しんらい}約束や信頼などに^{はん}反す

ることをする。④^{しんゆう うらぎ}背叛。「^{しゅっしょう ひみつ い}親友を裏切って、出生の秘密を言いふらす」②^よ予

^{そう}想していたことと^{ちが けっか}違う結果になる。④^{ゆうしょうこうほ}违背。④^{せんしゅ}辜負。「^{きたい}優勝候補の選手が、期待

を^{うらぎ}裏^{よせん ま}切って^{うらぎ}予選で負けた」 △^{うらぎ}名裏切り

う 4-12

うらぐち④ 【裏口】《名》①裏側にある出入口。台所の出入口。④后
門。便門。対表口 ②正式でないやり方。④走后門。「裏口入学」

う 4-13

うらさびし・い⑤④ 【うら寂しい】《形》なんとなくさびしい。④有点凄
涼。显得寂寞。「家も少なく人影もない、うらさびしい村だ//うらさびしい気

ぶん
分」 名うらさびしさ 類ものさびしい

う 4-14

うらづ・ける④ 【裏づける・裏付ける】《他動一》確かであることを、別の
かくど しょうめい
角度から証明する。④証明。证实。「アリバイを裏づける証人が現れた」 名

うらづ
裏付け

う 4-15

うらな・う③ 【占う】【他動五】（うらなって）人の将来のことや吉凶な
よそう
どを予想する。④占ト。算命。「手相見に結婚運を占ってもらう//景気の動向

うらな
を占う」 名占い

う 4-16

うらばなし③ 【裏話】《名》ごくわずかな限られた人が知っている内部の話。

㊥内情。内部的话。「成功の裏話を聞く」

う 4-17

うらはら① 【裏腹】《名・形動》言っていることや思っていることと、行動が違っていること。また、そのようす。㊥言行不一。「個性を伸ばすという方

針とは裏腹に、教師は生徒を枠にはめようとする」

う 4-18

うらぶ・れる①④ 《自動一》落ちぶれて、衰れなようすになる。㊥没落。

落魄。「若者がいなくなって、村はうらぶれた//うらぶれた姿」 書

う 4-19

うらぼん①② 【うら盆〔盂蘭盆〕】《名》7月15日、または、8月15日を中心
に、祖先や亡くなった人をしのんで行う仏教の行事。盆。㊥盂兰盆。

う 4-20

うらみ③ 【恨み〔怨み〕】《名》うらむこと。㊥怨恨。仇恨。「兄ばかり

をかわいがる母を、うらみに思う」 他動うらむ

【恨み骨髓に徹する】 うら こつずい てっ ひと きも ほね なか 人をうらむ気持ちが骨の中までしみとおる。㊥恨之入

骨。 ぐんたい じょうかん う ぼうりよく うら こつずい てっ 「軍隊で、上官から受けた暴力は、恨み骨髓に徹している」

【恨みを晴らす】 うら は しかえ きぶん 仕返しをして、気分をすっきりさせる。㊥报仇。雪恨。「去

ねんま あいて か ねん は 年負けた相手に勝って、1年ぶりにうらみを晴らした」

う 4-23

うらみ③ 【うらみ [憾”み]】 《名》 ざんねん ふまん おも てん けってん 残念・不満に思う点。欠点。㊥遗憾。

缺点。 こうじんぶつ たんき おこ 「好人物だが、短気で怒りっぽいといううらみがある」 書

う 4-24

うらみごと④⑤ 【恨み言】 《名》 うらみの きも 気持ちをこめたことば。㊥怨言

う 4-25

うらみつらみ⑥⑦ 【恨みつらみ】 《名》 いま 今までにたまってきた、さまざま
なうらみ。㊥一肚子的怨气。「いじめられたうらみつらみを、やっと おや はな 親に話
した」

う 4-26

うら・む② 【恨む [怨”む]】 《他動五》 (うらんで) ①ひどいことをした あいて 相手
を憎み、仕返しをしようと思う。㊥怨恨。仇恨。「クラスのいじめを もくにん 黙認した

きょうし いっしょう くや おも
教師を、一生うらむ」②悔しいと思う。④恨。遺憾。「津浪で家も家族も失

つた不運をうらむ」△名うらみ

う 4-27

うらめ④③ 【裏目】《名》予想とは反対の結果。④适得其反。事与愿违。

けんこう うらめ で あし いた
「健康のためのジョギングが裏目に出て、足を痛めてしまった」

う 4-28

うらめし・い④ 【恨めしい [怨めしい]】《形》うらみたい気持ちだ。④

可恨。可恶。「窮状を知っているながら、助けてくれない友達がうらめしい

//うらめしそうな顔」名うらめしさ

う 4-29

うらやまし・い⑤ 【羨ましい】《形》人をうらやむ気持ちだ。④羡慕。眼

紅。「ほしい物は何んでも買える、金持ちの子がうらやましい」名羨まし
さ

う 4-30

うらや・む③ 【羨む】《他動五》(うらやんで)自分よりすぐれた人や、し

あわせそうな人を見て、自分もそうなりたいと思う一方、そうはなれないと不

まん おも 満に思う。㊥羨慕。うんどう べんきょう 「運動も勉強もよくできる姉をうらやむ」

う 4-31

うららか② 【うららか〔麗〕らか】《形動》①春の、よく晴れて穏やかな天

き 気のように。㊥和煦。风和日麗。うららかな日の光を浴びて、散歩をする

② 心が明るく晴れやかなようす。㊥舒畅。愉快。「天気がいいと、うららか

な気分になる」 △名うららかさ

う 4-32

うらわか・い④ 【うら若い】《形》若くて、ういういしい。㊥年轻。「う

ら若い女性の参加で、会いはなやいだ」

う 4-33

ウラン① 《名》 (ⓉUran) 放射能を持つ元素の1つ。ウラニウム。㊥铀。

う 4-34

うり① 【ウリ〔瓜〕】《名》シロウリ・キュウリ・マクワウリなどの総称。

㊥瓜。

【^{うり}瓜のつるになすびはならぬ】^{ちすじ}血筋は^{あらし}争えないもので、^{おや}ふつうの親からは、
ふつうの子しか^う生まれない。㊦^{うり}瓜^ま蔓上^{なが}长不出^{かき}茄子来。龙生龙，凤生凤。 ㊧

^{とんび}鳶が^{たか}鷹を^う生む ㊧^{かえる}似た表現^こ蛙の子は^{かえる}蛙

う 4-36

うりあげ㊦ 【^{うりあげ}売り上げ・^{うりあげ}売上】《名》^{しょうひん}商品^うを^え売って^{かね}得たお金。㊦^{えいぎやう}营业额。

「^{みせ}店の^{いち}1日の^{うりあげ}売り上げは、^{まんえん}およそ10万円だ」 ㊧^ご1語^{つか}だけで^{ばあい}使う場合は「^{うり}売り

^{あげ}上げ」、「^{うりあげだか}売上高」^{うりあげきん}「売上金」など^た他の^ご語と^{けつごう}結合する場合は「^{うりあげ}売上」と^か書く。

う 4-37

うりき・れる㊦ 【^{うりき}売り切れる】《^{しなもの}自動一》^{ぜんぶ}品物が^う全部売れてなくなる。㊦^う售

^う空。售罄。「^{しん}新^きゲーム機は、^{はつばい}発売と^{どうじ}同時に^{うりき}売り切れた」 ㊧^{うりき}名^{うりき}売り切れ

う 4-38

うりことばに-かいことば 【^{うりことば}売りことばに^{かひ}買いことば】^{らんぼう}乱暴な^{たい}ことばに^{たい}対し

て、^ま負けずに^{らんぼう}乱暴な^いことばで^{かえ}言い返すこと。㊦^い以眼还眼，^か以牙还牙。「『そ

この^{ちゅうがくせい}中学生たち、^ううるさいぞ』と^い言われて、^{うり}売り^かことばに^か買い^かことばで、『そ

っちの^{こうこうせい}高校生こそ、^ううるさいよ』と^い言い返した」

う 4-39

うりこ・む③ 【売り込む】《他動五》（うりこんで）①うまく宣伝して、その商品を買いたくなるようにしむける。㊦**推销**。「客に試食させて、新しい食品を売りこむ」②よく知られるように働きかける。㊦**推荐**。推销。「いろいろな会合で名刺を配って、名前を売りこむ」③利益を得ようとして、情報を提供する。㊦**出卖**。「秘密情報を売りこむ」 △名売り込み

う 4-40

うりさば・く④ 【売りさばく〔売り捌く〕】《他動五》（うりさばいて）商品をすっかり売ってしまう。また、広くあちこちに売る。㊦**卖掉**。（到处）**推销**。
脱手。「野菜を、新鮮なうちに売りさばく」

う 4-41

うりだし① 【売り出し】《名》商品を特別に宣伝したり、安くしたりして売ること。㊦**甩卖**。「売り出し中の歌手//歳末大売り出し」

う 4-42

うりだ・す③ 【売り出す】《他動五》（うりだして）①品物を売り始める。㊦**开始出售**。上市。「11月初めから、年賀はがきを売りだす」②広く宣伝してたくさん売る。㊦**隆重推出**。甩卖。「新ゲームソフトを、いっせいに売りだす」

③ ^{おお}多くの人^{ひと}に知られる^しようにする。㊦ **出名**。「^{あくたがわしょうじゅしょう}芥川賞受賞^{なまえ}で名前^うを売りだ

した^{しんじんさっか}新人作家」 △ ^う名^だ売り出し

う 4-43

うりつ・ける ㊦ 【売りつける・売り付ける】《他動一》^{むり}無理^かに買^かわせる。㊦

强行推销。「^{かんこうきやく}観光客^{ひん}にみやげ品^うを売りつける」

う 4-44

うりて ㊦ 【売り手】《名》^{しなもの}品物^うを^{がわ}売る^{ひと}側^{ひと}の人。㊦ **卖主**。 ^か対^て買^てい手

う 4-45

うりてしじょう ㊦ 【売り手市場】《名》^か買^てい手^{おお}が多く、^う売^てり手^{ゆうり}に^と有利^とな取り

^ひ引き^{しじょう}の市場。㊦ **卖方市场**。「^{きぎょう}企^{しんそつ}業^{さいよう}が^ふ新卒^ふの採用^ふを増^ふやすと、^{だいがくせい}大^う学生^うには^う売^うり

^て手^{しじょう}市場^{しじょう}になる」 ^か対^て買^てい手^{しじょう}市場

う 4-46

うりとば・す ㊦ 【売り飛ばす】《他動五》（^ううりとば^{して}）^うおしげ^もなく^う売^うり

^{はら}払^うう。㊦ **（毫不可惜地）卖掉**。「^{ごうてい}豪^う邸^とを^と売^とり^と飛^とば^{して}、^{かいがい}海^い外^{じゅう}に^う移^う住^うした」

う 4-47

うりば ㊦ 【売り場】《名》^{しなもの}品物^うを^{ばしょ}売^{ばしょ}る^{ばしょ}場所。㊦ **柜台**。 **出售处**。「^{きつぷう}切^う符^ば売^ばり場」

う 4-48

うりはら・う④ 【売り払う】《他動五》（うりはらって）持っているものを全部売ってしまう。㊥全部卖掉。「田畑を売り払って、息子の教育費にあてる」

う 4-49

うり-ふたつ① 【うり二つ [瓜'二つ]】《連語》顔や姿がよく似ていること。㊥一模一样。酷似。「由美と由香はふたごの姉妹で、うり二つだ」

う 4-50

うりもの① 【売り物】《名》①売るための品物。㊥商品。②人々の関心を引く、最も自慢できるもの。㊥卖点。招牌。「雑学の知識が、このタレントの売り物だ」

う 4-51

うりょう① 【雨量】《名》雨・雪の降った量。㊥降雨量。降雪量。「東京の1年間の雨量は約1600 ミリメートルだ」

う 4-52

うりわた・す④ 【売り渡す】《他動五》（うりわたして）①品物・利権などを売って相手に渡す。㊥卖给别人。出售。「後継者がいないので、店を売り渡す」

した」**類** ^{ばいきゃく}売却する ② ^{たいせつ}大切なものを ^{てきがわ}敵側に ^{わた}渡す。ⓐ **出賣**。「^{てき}敵に ^{こうふく}降伏しても、
^{たましい}魂 ^うを ^{わた}売り渡すことはしない」

う 4-53

う・る**㊦** 【**売る**】《他動五》(うって) ① ^{だいきん}代金をもらって、^{しなもの}品物や ^{けんり}権利などを ^{あいて}相手に ^{わた}渡す。ⓐ **賣**。 **出售**。「^{しゅうかく}収穫した ^{やさい}野菜を ^う売る」 **対** ^か買う ② 広く ^{ひろ}知られるようにする。ⓐ **沽名**。「^でテレビに出、^{かお}顔を ^う売る」 ③ ^{じぶん}自分の ^{りえき}利益のために、
^{そしき}組織・^{なかま}仲間・^{じぶん}自分の ^{こころ}心などを ^{うらぎ}裏切る。ⓐ **出賣**。「^{なかま}仲間を ^う売る」 ④ ^{はたら}働きかける。

ⓐ **引発**。「^うけんかを ^う売る」 △ **名** ^う売り **自** ^う動 ^う売れる

う 4-54

う・る**㊦** 【**得る**】 I 《他動五》「^え得る」の古い言い方。 ^{ふる}自分のものにする。
ⓐ **得** ^{しょうがい}。「^よ生涯の ^{とも}良き友を ^う得る」 **対** ^{うしな}失う II 《接尾》(^{どうし}動詞の ^{れんようけい}連用形について) ① ~することができる。ⓐ **能**…。 **可以**…。「^{じつげん}実現しうる ^{けいかく}計画」 ② ~するかもしれない。ⓐ **可能**…。「^{かくめい}革命も ^お起こりうる ^{じたい}事態」 △ **書**

う 4-55

うるう② 【うるう〔閏〕】《名》^{じっさい てんたい うご こよみ}実際の天体の動きと^{ちようせつ}暦とのずれを調節する
ために、^{あいだ い ひ びよう}間に入れる日や秒。Ⓜ^{よねん ど}閏。「4年に1度のうるう年//うるう秒」

う 4-56

うるおい③ 【潤い】《名》①^{てきど すいぶん ふく}適度の水分を含むしめり^け気。Ⓜ^{しやく}湿润。滋潤。

「^{あか}赤ちゃんの^{はだ}肌はうるおいが^{やわ}あって^{けいざいてき}柔らかい」②^{せいしんてき}経済的・精神的に、ゆとり
があること。Ⓜ^{しやく}(経済上)寛裕。^{しゆく}(精神上)闲情逸致。「^{しゆく}昇給して、^{せいかつ}生活に

うるおいが^で出てきた」△^{うるお}自動潤う

う 4-57

うるお・う③ 【潤う】《自動五》(うるお^てって)①^{すいぶん}ちょうどいい水分やしめ

り^け気が、^{あめ}ゆきわたる。Ⓜ^き滋潤。潤澤。「^ききの^ぎうの^う雨で、^{うつく}木々がうるおって美
い」②^{けいざいてき}経済的・^{せいしんてき}精神的に^{ゆた}ゆとりができて、^{かんこうきやく}豊かになる。Ⓜ^{かんこうきやく}寛裕起来。「^{かんこうきやく}観光客

が^ふ増えて、^{まち}町の^{ざいせい}財政がうるおう」△^{うるお}名潤い ^{うるお}他動潤す

う 4-58

うるお・す③ 【潤す】《他動五》(うるお^{して}て)①^{すいぶん}ちょうどいい水分やしめ

り^け気を^{あた}与える。Ⓜ^{しやく}滋潤。潤澤。「^{いっぱい}1杯の^{みず}水で、^{けいざいてき}のどをうるおす」②^{せいしんてき}経済的・精神的
に^{ゆた}豊かにする。Ⓜ^{かんこう}使…^じ豊富。丰厚。「^{かんこう}観光事業が、^し市の^{ざいせい}財政をうるおす」△

うるお 潤い 自動 うるお 潤う

う 4-59

うるさ・い③ 【うるさい〔五月蠅い〕】 《形》①音や声が大きすぎて、じ

やまだ。㊤吵。闹。「電車の音がうるさい//走り回って、うるさい子だ」 類

やかましい。騒がしい ②何度も繰り返されて、いやだ。㊤烦人。讨厌。「親が

勉強しろとうるさく言う」 類くどい ③そのことにこだわって、いろいろ言

うようす。㊤挑剔。「時間にうるさい人だから、約束に遅れたらたいへんだ」

△類騒がしい。騒々しい。やかましい

比較 うるさい・騒がしい・騒々しい・やかましい

4語とも声や音が気になるほど大きいことだが、騒々しい・騒がしいは客観的な気持ちでとらえている面が強い。うるさい・やかましいは、不快だったり、じゃまだったり感じたとき使う。騒々しい・騒がしいは複数の人の声にいうが、うるさい・やかましいは1人の声でもいう。

- ◆夜中に大声で歌う声がうるさい/うるさい飛行機の音
- ◆若者が集まって騒がしくしている/騒がしい人々の声
- ◆外が騒々しいが何が起きたのだ/騒々しいスピーカーの声
- ◆ケータイ電話で話す声がやかましい/隣の犬がやかましくほえる

う 4-60

うるし① 【漆】《名》①樹液から塗料をとる木。㊦漆樹。「漆かぶれ/漆

中毒」②「①」からとった塗料。また、それをぬった製品。㊦漆。漆製品。

「漆のお椀//漆塗り/漆器」

う 4-61

ウルトラ 【ウルトラ-】《接頭》(ultra) 超。極端な。㊦超。極端。「ウルトラモダン」

う 4-62

うる・む② 【潤む】《自動五》(うるんで) 水気やしめり気を含む。㊦湿润。

弄得湿乎乎。「涙で目がうるむ」

う 4-63

うるわし・い④ 【麗しい】《形》①形・色・声などが美しい。㊦美丽的。

优美的。美妙的。「みめ麗しい女優」②天気や気分がはればれしている。㊦

明媚的。愉快的。「ごきげん麗しくお過ごしのことと存じます」③感動的な

ようすだ。㊦令人感动的。打动人心的。「麗しい友情」△名麗しさ

う 4-64

うれい② 【愁い】《名》①^{なや}悩みや^{かな}悲しみで^{こころ}心が^は晴れないこと。㊥**忧愁。忧**

郁。「^{おっと}夫の^{しご}死後、^{うれ}愁いに^{しず}沈んでいる」②なんとなくさびしいこと。㊥**哀愁。**

感伤。「^{うれ}愁いをおびた^{ひょうじょう}表情//^{はる}春の^よ夜の^{うれ}愁い」

う 4-65

うれい②③ 【憂い】《名》^{しんぱい}心配や^{ふあん}不安で^{こころ}心が^は晴れないこと。㊥**担忧。忧虑。**

「^{そな}備えあれば^{うれ}憂いなし//^{こうこ}後顧の^{うれ}憂い」書 類 ^{しんぱい}心配. ^き気がかり

う 4-66

うれ・える③ 【憂える】《自他動一》^{しんぱい}心配して^き気づかう。㊥**忧虑。担忧。**「^{くに}国の

^{しょうらい}将来を^{うれ}憂える」名 ^{うれ}憂い

う 4-67

うれし・い③ 【うれしい [喜]しい】《形》いいことがあったり^{まんぞく}満足した

りして、^{きぶん}気分がいい。㊥**高兴的。欢喜的。**「^{てんと}テストで100点取れて、うれしい」

名うれしさ 対 ^{かな}悲しい

う 4-68

うれしなき① 【うれし泣き [喜]し泣き】《名・自動～する》うれしさの

あまり^な泣くこと。㊥**因高兴而流泪。**「^{ゆうしょう}優勝して^なうれし泣きをした」

う 4-69

うれしなみだ④ 【うれし涙 [嬉'し涙]】《名》たいへんうれしいときに出る

なみだ 涙。㊤喜悦的泪水。「大賞を受賞して、うれし涙を流した」

う 4-70

うれすじ① 【売れ筋】《名》どうるい しょうひん なか 売れ筋 品物。㊤

畅销货。走俏商品。「最近の車の売れ筋は低公害車だ」

う 4-71

うれっこ① 【売れっ子】《名》やくしゃ など、にんき 人気があつて多くの仕事を頼ま

れる人。㊤红人儿。受欢迎的人。走红的（演员）。「売れっ子のタレントを

コマーシャルに起用する」

う 4-72

うれゆき① 【売れ行き】《名》しなもの 売れ行き 速さやようす。㊤销

路。销售情况。「新製品の売れ行きが好調だ//売れ行きが鈍る」

う 4-73

う・れる① 【売れる】《自動一》①しなもの が買われていく。㊤好卖。畅销。「暑い

のでビールがよく売れる」②なまえ かお がよく知られている。㊤出名。驰名。「名

が売れている画家の絵を購入する」 △他動売る

う 4-74

う・れる② 【**熟れる**】《自動一》^{くだもの}果物や^{こくもつ}穀物が十分^{じゅうぶん}実る。^{みの}④**成熟。熟。**「カ
キの^み実がうれて、^{いろ}いい色になった」

う 4-75

うろうろ① 《～（と）副・自動～する》①^{もくてき}目的もなく、その^{ある}へんを歩きま
わるようす。④**转来转去。徘徊。**「^の野良^{らいぬ}犬がうろうろしている」②どうした
らいいかわからず、^{こま}困って^{うご}動きまわるようす。④**彷徨。不知所措。**「^{みち}道に^{まよ}迷っ
て、うろうろと^{ある}歩きまわった」△**類**まごまご. うろちよろ

う 4-76

うろおぼえ④③ 【**うろ覚え**】《名》^{おぼ}ぼんやりと覚えていること。④**模糊的**
记忆。「^{おぼ}うろ^{ぼんごう}覚えの^{でんわ}番号で^{うん}電話したら、^あ運よく合っていた」

う 4-77

うろた・える④④ 《自動一》^{とつぜん}突然のことに、どうしていいかわからず、ま
ごつく。④**惊慌失措。**「^{おも}思いがけない^{はんろん}反論にうろたえた」**類**^{ろうばい}狼狽する

う 4-78

うろつ・く④ 《自動五》（うろついて）^{ある}あちこち歩きまわる。④**闲逛。游荡。**

「暇があると、古本屋街をうろついている」 類 うろろうろする. ほつつく

う 4-79

うわ 【上-】《接頭》①位置が上であることを表す。㊥（位置）上…。「上あ

ご//上着」②数量・価値・程度などが大きいことを表す。㊥（数量、价值、

程度等）上…。高…。「上回る//うわて//上乘せ」③屋内で使うことを表す。

㊥室内穿的…。「上靴//上履き」

う 4-80

うわがき ㊥ 【上書き】《名・他動～する》①封筒や贈り物などの表面に宛名

や文字を書くこと。また、その文字。表書き。㊥写收件（接收）人的姓名、

地址。在信封或礼物上留言。「結婚祝いの上書きを筆で書く」②パソコンで、

文章を作成して書き直すとき、書き直した文章を保存すること。㊥覆

盖。「文章を修正して、上書き保存した」

う 4-81

うわき ㊥ 【浮気】《名・形動・自動～する》①気持ちが変わりやすいこと。

㊥喜怒无常。见异思迁。「去年大流行のブーツが今年は全然売れないとは、

しょうひしゃ うわき おっと つまいがい いせい ふか かんけい も
消費者は浮気だ」② 夫や妻以外の異性と、深い関係を持つこと。㊦婚外情。

おっと うわき げんいん りこん ふうりん かんつう
「夫の浮気が原因で離婚した」 類不倫. 姦通

う 4-82

うわぎ㊦ 【上着】《名》上半身のいちばん外側に着る服。㊦上衣。「暑い

ので上着を脱ぐ」 数1着. 1枚 対下着. ズボン

う 4-83

うわごと㊦ 【うわごと〔譫〕言】《名》高熱にうなされているときなどに、

無意識に言うことば。㊦(高烧时的)胡话。梦话。「高熱で寝ている妹が、

『おかあさん、こわいよ』とうわごとを言った」

う 4-84

うわさ㊦ 【うわさ〔噂〕】《名・他動～する》①そこにはいない人のことを

あれこれ話すこと。また、その話。㊦(关于某人某事的)议论。闲话。「道子

はいつも遅刻するからと、うわさをしていたら、本人が現れた」②世間では

く言われている、確かでない話。㊦传闻。风声。风言风语。「駅前えきまえの旅館りょかんが

倒産したといううわさが流れた」 類風説. 流言

【噂うわさをすれば影かげ】人ひとのうわさをしてしていると、ちょうどその人ひとがやってくるものだ。㊥说曹操，曹操就到。

う 4-86

うわすべり ㊦ ㊧ 【上滑り】《名・自動～する・形動》ものごとを表面的ひょうめんてきにしか理解りかいしていなくて軽薄けいはくなこと。また、そのようす。㊥一知半解。（认识）

肤浅。只知皮毛。「議論ぎろんが上うわすべりしている」 ㊦上うわつ調子ちょうし. 浅薄せんぼく

う 4-87

うわず・る ㊨ 【うわずる・上擦る】《自動五》（うわずって）興奮こうふんや緊張きんちょうのために、声こえがいつもより高たかくなったり震ふるえたりする。㊥（因兴奋或紧张等而）

尖叫。声音颤抖。「興奮こうふんで声こえがうわずる」

う 4-88

うわぜい ㊩ 【上背】《名》背せの高たかさ。㊥身高。身長。个子。「上背うわぜいがあるので、よくめだつ」

う 4-89

うわつ・く ㊪ 【うわつく・浮つく】《自動五》（うわついて）①うきうきして落ち着おかなくなる。㊥兴奋。高兴得难以平静。「デートの後あとは気分きぶんがうわつ

いて眠ねむれない」 ㊦そわそわする ㊨感じ方かんや行かたいおこないが軽薄けいはくである。㊥轻率。

不沉稳。「うわついた^{きも}気持ちでは、^{かいご}介護の^{しごと}仕事はできない」

う 4-90

うわつつら[㊟] 【上っ面】《名》^{そとがわ}外側から^み見える^{ぶぶん}部分。うわつら。㊟表面。

事物的外表。「^{ひと}人を^{うわ}上っ^{つら}面だけで^{はんだん}判断してはいけない」 話 類 うわべ、^{がいめん}外面

う 4-91

うわづみ[㊟] 【上積み】《名・他動～する》①^{まえ}前に^{しめ}示した^{きんがく}金額などに、すこ

しつけ^{くわ}加えること。^{うわの}上乘せ。㊟（^{ことし}在原有^し钱数上）^た添加。加。「今年^{ことし}のボーナス

は、^{かいしゃあん}会社案に^{えんうわづ}3000円上積みして、^{けっちやく}決着した」②^つ積み上げてある^あ品物の^{しなもの}上^{うえ}に、

さらに^{しなもの}品物を^つ積むこと。㊟^{うわづ}往堆积的^{にものつ}货物上面装货。「トラックの^{うわづ}上積みの^{にものつ}荷物

^おが落ちそうだ」 対^{したづ}下積み

う 4-92

うわて[㊟] 【うわて・上手】《名》①^た他の^{ひと}人より^{のうりよく}能力・^{ぎじゅつ}技術がすぐれてい

ること。㊟^{ちち}高超。高明。強。「父は、^{はは}母より^{りょうり}料理の^{うで}腕が一枚^{いちまい}うわてだ」②^{じぶん}自分

が^{あいて}相手より^{ただ}正しいとか、^{つよ}強いとかいう^{たいど}態度。㊟^{あいて}盛气凌人的^{たいど}态度。压制^{あいて}对方之

勢。「^{あいて}相手が^{じゅんび}準備^{ぶそく}不足と見て、^みうわてに^で出る」 対^{したて}下手 類^{つよき}強気 注「^{じょう}じょう

ず」「かみて」とも読めるので、^よ区別するために、ひらがなで書くほうがいい。

う 4-93

うわのせ① 【上乘せ】《名・他動～する》^{まえ しめ}前に示した^{きんがく すうりょう}金額や数量に、さらにつけ加えること。^{うわづ}上積み。㊦加钱。加量。加价。「^{そうりょう うわの}送料を上乘せして^{せいきゅう}請求する」

う 4-94

うわのそら④ 【上の空】《名・形動》^{ほか}他のことが^き気になって、^{め まえ}目の前のことに^{ちゅうい しゅうちゅう}注意が集中できないこと。㊦心不在焉。漫不经心。「^{ごうかくはっぴょう ま}合格発表を待つ間は、^{あいだ なに き}何を聞かれても^{うわ そら}上の空だ」似た表現^{こころ}心ここにあらず

う 4-95

うわばき① 【上履き】《名》^{たてもの なか}建物の中ではなくはきもの。^{うわぐつ}上靴。㊦在室内穿的鞋。拖鞋。対^{した ば}下履き

う 4-96

うわべ① 【上辺】《名》^{そと み ぶぶん}外から見える部分。㊦表面。外表。「^{かな}悲しくても、^{あか}うわべは明るくふるまう」類^{うわ つら がいめん}上っ面. 外面

う 4-97

うわまえ① 【上前】《名》①他人に取りつぐ代金などの一部。②佣金。回

扣。「仲介料として、給料の上前をはねる」②着物の前を合わせるとき、

上になるほう。③（衣服的）外襟。上襟。「着物は左を上前にして着る」 対

したまえ
下前

う 4-98

うわまわ・る④ 【上回る】《自動五》（うわまわって）ある規準より上に出た

り、多くなったりする。⑤超出。超过。「ボーナスは昨年度を上まわった」 対

したまわ
下回る

う 4-99

うわむき① 【上向き】《名》①上を向いていること。②朝上。向上。③も

のごとがよくなっていくこと。④上升。看涨。「景気が上向きになる」 △ 下

む
向き

う 4-100

うわやく① 【上役】《名》会社や役所などで、自分より地位が高い人。②

上級。上司。「上役の家に新年の挨拶に行く」 対 下役 類 上司

う 5-1

うん① 【運】《名》人の力ではどうにもできない幸・不幸のめぐり合わせ。

㊦ 命运。运气。「宝くじに当たるとは、運がいい//運を天に任す」

【運の尽き】いい運から離れてしまうこと。㊦ 运数已尽。「盗みに入ったの

が警官の家だったとは、運のつきだ」

う 5-3

うん① 《感》相手の言うことに、賛成したり認めたりするとき、言うこと

ば。㊦（賛成、同意対方的話時）嗯。「『一緒に食事に行こうか？』『うん、

いいよ』」 話 対いや 類 ええ. はあ. はい

比較 うん・ええ・はあ・はい

4語とも相手の言うことを認めたり、承知したりするときと言う語だが、「はい」→「ええ」→「うん」の順でぞんざいになる。また、「はあ」は「はい」よりも、はっきりしない言い方。

- ◆あしたプール行く？ うん、行くよ。
- ◆あしたプールに行く？ ええ、行くわよ。
- ◆あしたプールに行きます？ はあ、行くつもりです。
- ◆あしたプールに行きますか？ はい、行きます。

う 5-4

うんえい① 【運営】《名・他動～する》組織・機構などを動かして、仕事

が進むようにすること。㊦ 运营。经营。

う 5-5

うんが① 【運河】《名》船ふねを通とおすために陸地りくちにつくった水路すいろ。㊦运河。「船はスエズ運河うんが とおを通して、地中海ちちゅうかいから紅海こうかいに出た」

う 5-6

うんきゅう② 【運休】《名・自動～する》「運うん転てん休きゅう止し」「運うん航こう休きゅう止し」の略。

電車でんしゃ・バスひこうき・飛行機うんてんなどの運うん転てんや運うん航こうを休やすむこと。㊦停たい飛ふう。停たい航こう。停たい運うん。「台風のため、電車でんしゃが運うん休きゅうになっている」

う 5-7

うんこう③ 【運行】《名・自動～する》決きまった道筋みちすじをすすんで行くこと。

㊦（在既定的路线上）行うん駛こう。运うん行こう。「バスの運うん行こう//星ほしの運うん行こう」

う 5-8

うんざり③ 《副・自動～する》同おなじことが長ながく続つづいたり繰くり返かえされたりし

て、あきていやになるようす。㊦膩な煩わん。厭えん膩な。「校こう長ちやう先せん生せいのはなし話はは、いながつも長ながくてうんざりだ」 類るいあきあき.げんなり⇒比ひ較かく

う 5-9

うんせい① 【運勢】《名》人ひとの将しょう来らいの運うんのなりゆき。㊦运うん勢せい。将しょう来らい的てき命めい运うん。

「運うん勢せいを占うらななう」

う 5-10

うんそう① 【運送】《名・他動～する》^{しごと}仕事として^{にもつ もくてきち おく とど}荷物を目的地へ送り届けること。④^{うんそうがいしゃ}运送。运输。「^{うんそうがいしゃ}運送会社」^{うんぱん}類運搬

比較

^{うんそう}運送・^{うんぱん}運搬

2 語とも物を運ぶこと。運送はトラックなど乗り物を使って運ぶこと。

運搬は人が持って運ぶときにも使う。

◆東京から九州までトラックで運送する/運送会社

◆建築に必要な材木を運搬する/運搬作業

う 5-11

うんだめし③ 【運試し】《名・自動～する》^{うん}運が^{わる}いいか^{ため}悪いかを試すこと。

④^{うんだめ}试试运气。碰运气。「^{うんだめ たから か どう あ}運試しに宝くじを買ったら、1等が当たった」

う 5-12

うんちく① 【うんちく [蓄]】 《名》^{がくもん ぎのう ふか ちしき} 学問や技能の深い知識。㊤高深的

造诣。渊博的知识。「^{おじ}伯父は^{きょく}バッハの曲について、^{かたむ かた}うんちくを傾けて語っ

た」^{がくしき ぞうけい} 書 類 学識. 造詣

う 5-13

うんちん① 【運賃】 《名》^{ひと にもつ はこ りょうきん} 人や荷物を運ぶ料金。㊤运费。「^{うんちんひょう}運賃表」^類

^{うんそうりょうきん うんそう ひ} 運送料金. 運送費

う 5-14

うんでい-の-さ 【雲泥の差】 《連語》^{ちが てん ち おお} 違いが天と地ほど大きいこと。㊤天

壤之别。「^{しんまいきょう し}新米教師と^{きょう し}ベテラン教師とでは、^{おし かた うんでい さ}教え方に雲泥の差がある」

う 5-15

うんてん① 【運転】 《名・他動～する》①^{きかい の もの うご} 機械や乗り物を動かすこと。㊤

驾驶。开动。运转。「^{でんしゃ うんてん}電車を運転する//^{うんてんしゅ}運転手」②^{かね} お金をやりくりして^{つか}使う

こと。㊤^{しきん じょうず うんてん} 周转。「資金を上手に運転して、^{あかじ だ}赤字を出さないようにする//^{うんてん}運転

^{しきん} 資金」

う 5-16

うんと①② 《副》たくさん。^{ひじょう}非常に。㊥多。非常。「うんと^{べんきょう}勉強する// うんとほめる」俗

う 5-17

うんどう③ 【運動】《名・自動～する》①^{けんこう たの}健康や^{からだ うご}楽しみのために^{からだ うご}体を動かすこと。㊥（**体育、健身**）^{うんどう}运动。「^{まいにち}運動のため毎日1 ^{じかんある}時間^{うんどう ぶそく}歩く//運動不足」類
スポーツ ②ある^{もくてき}目的で、^{ひとびと}人々に^{はたら}働きかけて^{こうどう}行動すること。㊥（**政治、社会**
性）^{だつげんぱつうんどう}运动。「^{せんきょううんどう}脱原発^{せんきょううんどう}運動//^{せんきょううんどう}選挙^{せんきょううんどう}運動」類^{かつどう}活動 ③^{じかん}時間が^{じかん}たつにしたがって、
ものが^{いち}位置^かを変えること。㊥（**物体的**）^{てんたい}运动。「^{うんどう}天体の^{かんさつ}運動を^{かんさつ}観察する」対

せいし
静止

う 5-18

うん-と-も-すん-と-も 《連語》まったく^{へんじ}返事や^{おうとう}応答がないこと。㊥**一声不**
响。不置可否。「^{むすこ}息子に^{かね}お金を^{おく}送ったのに、^いうんとも^いすんとも^い言^いってこない」
参ふつう、^{あと}後に^{ひてい}否定の^ご語がくる。

う 5-19

うんぬん④ 【うんぬん〔云'云'・云'々'〕】I 《名・他動～する》あれこれ
言うこと。㊥**说三道四。说长道短**。「^お終わったことをうんぬんしても、^{もと}元
はもどらない」II 《名》①^{あと}後を^{しょうりやく}省略するとき^{つか}に使うことば。㊥**云云。等等**。

「責任は自分にはない、うんぬんと弁明する」 類^{とうとう}等々. しかじか ②ぼかし

て言うときに使うことば。㊦云云。诸如此类。「いまさらリストラうんぬん
は論外だ」

う 5-20

うんぱん① 【運搬】《名・他動～する》品物などを運ぶこと。㊦搬运。运
輸。「収穫した野菜をトラックで運搬する」 類^{うんそう ひかくらん}運送⇒比較欄

う 5-21

うんめい① 【運命】《名》人間の行動や運・不運を支配する大きな力。ま
た、それによって決められたなりゆき。㊦命运。「船長は、沈んでいく船と運命
を共にした」

う 5-22

うんゆ① 【運輸】《名》旅客や貨物を、乗り物を使って運ぶこと。㊦运输。
运载。「運輸行政」 書^{ゆそう}類輸送

う 5-23

うんよう① 【運用】《名・他動～する》お金や法律などを、うまく働かせ
て使うこと。㊦运用。「資金を効率よく運用する//システムの運用」